



ウェブライト  
イントラネット情報端末「WebLight」

KDT312SCABG

## 取 扱 説 明 書

---

このたびは、イントラネット情報端末「WebLight」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に本書をよくお読みいただき、本装置の機能、取扱い方法などを十分ご理解の上、正しくご使用下さるようお願い致します。

また詳細につきましては、販売代理店または弊社営業部までご連絡ください。

---

### 【お願い】

本取扱説明書は、必要に応じていつでも読めるように大切に保管ください。

本書の内容および本装置の仕様は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたら、お手数ですが弊社営業カスタマサポート窓口までご連絡ください。

本書の適用の結果生じた間接障害を含め、いかなる損害についても責任を負いかねますのでご了承ください。

本書の内容の一部または全ての無断転載、無断複写は禁止されております。

本装置は外国為替および外国貿易管理法の規定により、日本国外に輸出する場合には日本国政府の許可が必要です。

### 【保証について】

本書の注意書きに基づく正常な使用状態のもとで、保証期間内に万一故障し弊社がそれを認めた場合、無償にて故障個所の修理または交換を致します。

本製品の故障またはその使用により誘発される二次的な災害については、弊社はその責任を負わないものとします。

---

## 安全上のご注意

イントラネット情報端末「WebLight」を正しく安全にご使用いただくため、下記の安全注意事項を必ずお守りください。

これらの注意事項に反した取扱いにより生じた損害について、当社は責任と保証を致しかねます。

### ⚠警告

- 本装置が万一故障したり誤動作やプログラムに欠陥があった場合でも、ご使用されるシステムの安全が十分確保されるよう、保護・安全回路は外部に設け、人身事故・重大な災害に対する安全対策などが十分確保できるようなシステム設計としてください。
- 本装置のタッチパネルを使用して、人命や重要な損傷にかかわるスイッチ（緊急停止スイッチ等）を作成することは絶対にしないでください。タッチパネルの誤操作や故障に対応できるシステム設計を行ってください。
- 保護接地端子は必ず第Ⅱ種接地をしてください。接地をしないと感電する危険があります。
- 本装置が万一故障した場合はただちに本装置の電源プラグをコンセントから抜き、使用しないでください。

### ⚠注意

- 本装置は仕様に定められた環境（振動、衝撃、温度、湿度など）の範囲内で使用、保管ください。
- 本装置は可燃性、爆発性のガスまたは蒸気のある場所では使用できません。
- 電源投入前に本装置の定格電源電圧とコンセントの供給電源電圧が合っていることを確認してください。誤った電源を接続すると機器を破損することがあります。
- 本装置は保護接地と信号グランドが内部で接続されています。本装置を機械や制御装置に組み込んだ状態で溶接を行うと、溶接電流により本装置を破損することがありますのでご注意ください。
- 本装置を分解したり、改造しないでください。故障やトラブルの原因となります。
- 本装置のタッチパネルはガラスを使用していますので、固いもので衝撃を与えたり、過度の力で押しますと破損の原因となります。
- シャープペンやドライバーなど、先の鋭利なもので本装置のタッチパネルを押さないでください。傷や故障の原因となります。
- 液晶ディスプレイが破損した場合、内部の液体を口に入れたり触れたりしないでください。もし、内部の液体が口に入った場合は、すぐにうがいをしてください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄してください。
- TFT 液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られており 99.99%以上が有効画素ですが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素が存在します。これは故障では有りません。

この装置は、クラスA 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

V C C I - A

## 梱包品のご案内

このたびは、弊社 WebLight をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。  
 搬送用のダンボール箱には以下の内容が梱包されております。ご使用前にご確認ください。  
 機種により、梱包品が異なりますので下記表をご確認願います。

	K D T 3 1 2 S C A B G - 1	
名 称	個数	型 番
装置本体	1	K D T 3 1 2 S C A B G
A C アダプタ	1	
電源ケーブル	1	
取扱説明書	1	
保証書	1	

本装置内のソフトウェアの逆アセンブル、逆コンパイルなどのリバースエンジニアリング行為を禁止します。

本製品のインターネット機能は株式会社アクセスのNetFront®を搭載しています。

「JV-Lite®」は株式会社アクセスの登録商標です。

Copyright (C) 1996,1997 ACCESS CO.,LTD.

Java および Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

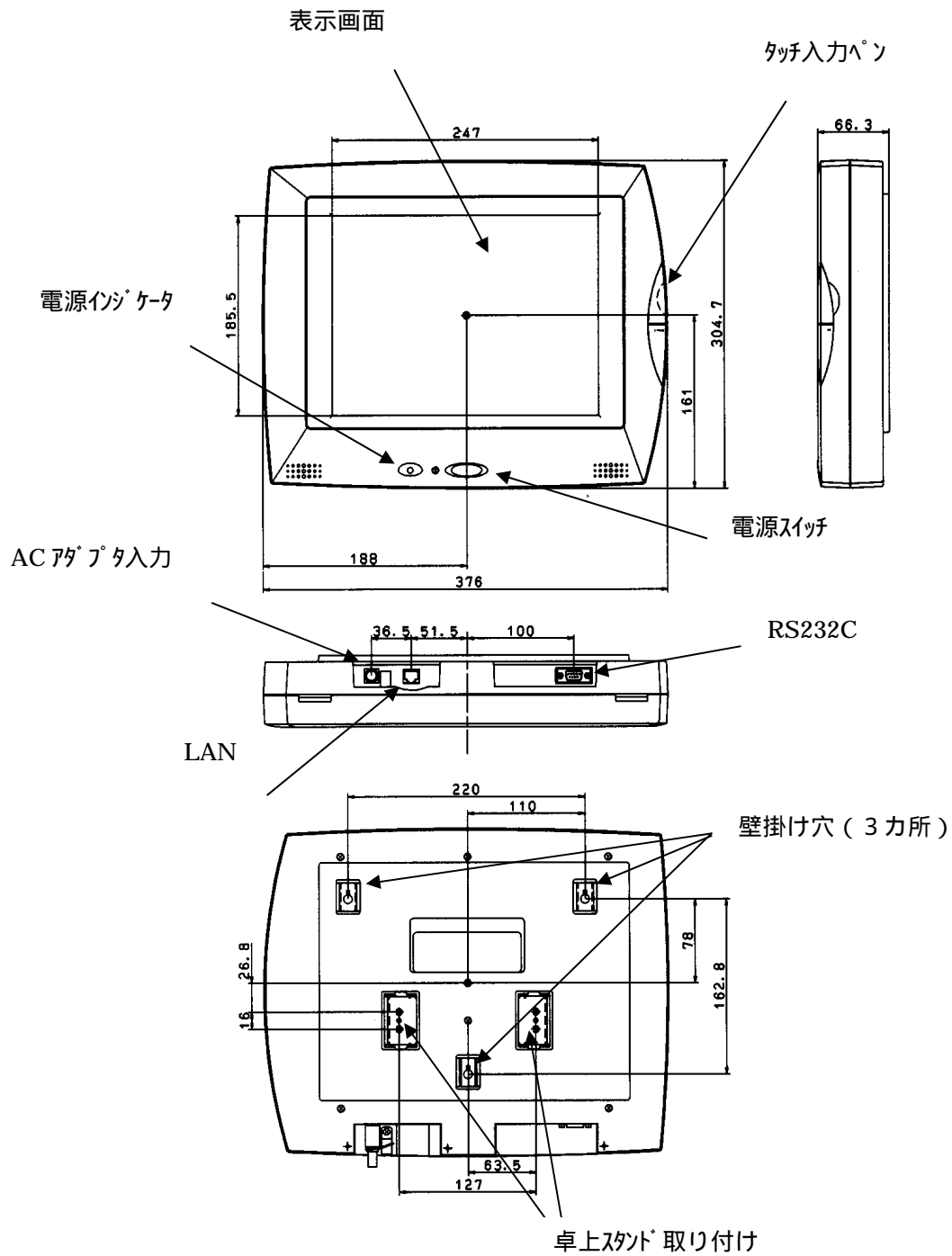
この製品の一部は Independent JPEG Group を使用して作成されています。

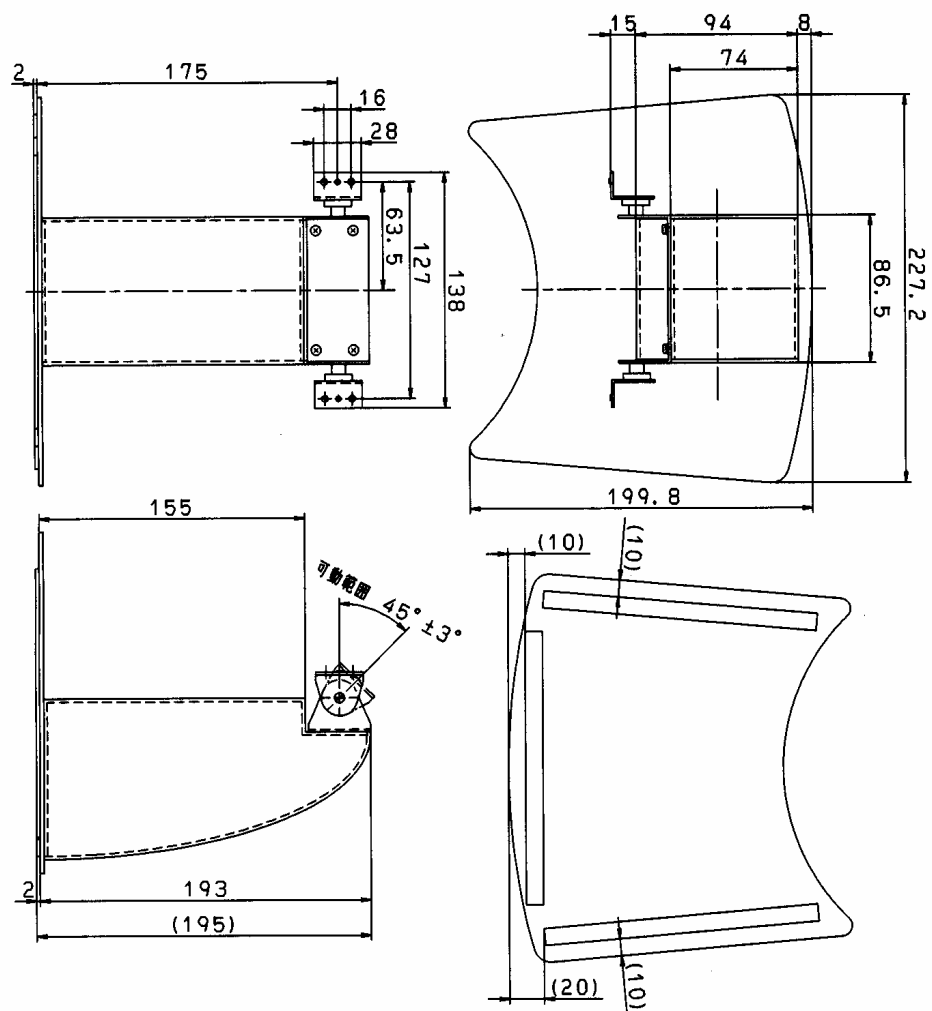
# 目 次

お願い .....	6
1 .....	
保証について .....	11
1 .....	
安全上のご注意 .....	2
2 .....	
梱包品のご案内 .....	3
3 .....	
1 . 本体各部の名称 .....	6
2 . 一般仕様 .....	8
3 . 本装置を使用する .....	10
3 - 1 電源の用意 .....	10
3 - 2 ネットワークの初期設定 .....	10
3 - 2 - 1 接続環境の設定 .....	11
3 - 2 - 1 - 1 DHCPサーバを使用する場合 .....	11
3 - 2 - 1 - 2 DHCPサーバを使用しない場合 .....	11
3 - 2 - 2 ブラウザ環境の設定 .....	13
3 - 3 設定の完了 .....	14
3 - 4 画面が表示されない場合 .....	14
3 - 5 画面表示後の操作 .....	14
3 - 6 タッチパネルのキャリブレーション .....	14
4 . 設置要領 .....	15
4 - 1 設置 .....	15
4 - 2 電源 .....	15
4 - 3 接地 .....	16
4 - 4 その他の結線 .....	16
5 . インターフェース仕様 .....	17
5 - 1 10BASE-T .....	17
5 - 2 RS232C CH1 .....	17
6 . バックライト .....	18
7 . 本装置の設定 .....	19
7 - 1 管理者設定 .....	19
7 - 1 - 1 接続環境設定 .....	21
7 - 1 - 2 ブラウザ環境設定 .....	22
7 - 1 - 3 メール環境設定 .....	23
7 - 1 - 4 システム環境設定 .....	24
7 - 1 - 5 表示環境設定 .....	26
7 - 1 - 6 シリアル通信環境設定 .....	27
7 - 1 - 7 管理者設定の終了 .....	28
7 - 2 ユーザ設定 .....	28
7 - 2 - 1 ユーザ環境設定 .....	29
7 - 2 - 2 メール環境設定 .....	29
7 - 3 タッチパネルキャリブレーション .....	29
7 - 4 運転の前に .....	29
8 . ツールバー .....	31
8 - 1 ブラウザ画面 .....	31

8 - 2 ツールバーの表示.....	31
<b>9 . メール画面 .....</b>	<b>33</b>
9 - 1 メールメニュー画面の呼び出し.....	33
9 - 2 メール作成 .....	34
9 - 3 送信簿.....	36
9 - 4 新着メール .....	37
9 - 5 受信簿.....	38
9 - 5 - 1 受信メール.....	39
9 - 6 アドレス帳 .....	41
9 - 6 - 1 アドレス登録 .....	42
9 - 6 - 2 アドレス一括登録.....	44
9 - 7 終了 .....	45
<b>10 . ソフトウェアキーボード .....</b>	<b>46</b>
10 - 1 ソフトウェアキーボードの概要.....	46
10 - 2 文字選択キー群.....	47
10 - 3 文字入力キー群.....	48
10 - 4 機能キー群.....	48
10 - 5 テンキー群.....	49
<b>11 . HTML ドキュメント作成資料.....</b>	<b>50</b>
11 - 1 対応画像データ形式 .....	50
11 - 2 対応サウンドデータ形式.....	50
11 - 3 表示フォントについて.....	51
11 - 4 メールメニュー画面への移行.....	51
11 - 5 ユーザインターフェイスの作成.....	51
11 - 5 - 1 ツールバーの機能を HTML 文書に埋め込む.....	51
11 - 5 - 2 フレームの拡張機能.....	52
11 - 6 コンテンツの有効表示範囲 .....	52
11 - 7 ソフトウェアキーボードの指定.....	53
11 - 8 HTML タグ一覧 .....	54
11 - 9 J A V A S C R I P T .....	56
11 - 9 - 1 JavaScript 対応表.....	56
11 - 9 - 2 JavaScript 制限事項.....	65
<b>12 . 保守.....</b>	<b>66</b>
12 - 1 保守.....	66

# 1．本体各部の名称





## ２．一般仕様

### 仕様（ハードウェア）

項	目	
表示機能	表示デバイス	TFTカラーLCD
	サイズ	12.1インチ
	分解能	SVGA(800×600ドット)
	表示色	65536色
	バックライト	冷陰極管
	タッチパネル	アナログ・ハイクリア抵抗膜方式
インターフェース	LAN	10BASE-T(RJ-45コネクタ)
	シリアル	RS232C 1チャンネル
	音声出力	ステレオ2CH 内蔵スピーカ/外部スピーカ出力(3.5mmミニピンジャック)
電源	定格電圧	AC100～240V (付属の電源コードはAC100V専用です。)
	定格周波数	50/60Hz
	消費電流	0.7～0.2A以下 (AC100～240V)
	消費電力	52.8VA以下
重量		5Kg以下
外形寸法		376.0mm(W)×304.7mm(H)×199.8mm(D)

### 設置環境条件

項	目	
耐振動		JIS-C0911準拠(指定の梱包状態) (5～55Hz 2G X、Y、Z方向)
耐衝撃		JIS-C0912準拠(X、Y、Z 10G 12ms以下) (指定の梱包状態)
使用周囲温度範囲		0～40 (温度勾配10/h以下)
使用周囲湿度範囲		15～85%RH 結露なきこと
保存周囲温度範囲		-10～60 (温度勾配10/h以下)
使用周囲雰囲気		腐食性ガスのないこと
耐ノイズ性	電源	1000Vppパルス幅100ns、1000ns コモンモード
	通信	400Vppパルス幅100ns、1000ns 容量カップリング
耐電圧		AC1.5KV(1分間) 電源入力端子～保護接地間
絶縁抵抗		DC500Vにて50M 以上 電源入力端子～保護接地間
接地方法		第D種接地
構造		卓上据え置き型
冷却方式		自然空冷



## 仕様（ソフトウェア）

項 目		仕 様
通信	L A N接続	T C P / I P
W e bブラウザ	通信プロトコル	H T T P 1 . 0 及び H T T P 1 . 1 の一部
	H T M L	H T M L 3 . 2 フレームサポート
	表示イメージ	G I F ( G I F 8 7 a , G I F 8 9 a ) J P E G ( 基本方式 ( ベースライン ) D C T 符号化 ) P N G
	対応漢字コード	J I S、S H I F T J I S、E U C
	JavaScript	1.1 相当 (一部未対応)
	メールプロトコル	S M T P、P O P 3
	仮名漢字変換	A S K 仮名漢字変換
	認証	ベーシック認証
	C o o k i e	対応 ( 但し電源断で消去する。 )
入力機能	入力手段	アナログタッチパネル、バーコードリーダー、磁気カードリーダー、etc.
音声出力	内蔵スピーカ / 音声外部出力	対応音声フォーマット : W A V、A U、A I F F ( 但し、1 6 ビットサンプルデータは 8 ビットサンプルデータに変換されて出力されます。 )
プラグイン	Java™モジュール	JV-Lite®

## 3．本装置を使用する

初めて本装置を使用する場合の設定方法を説明します。設定を実行する前に以下の項目について確認をしてください。

### 3 - 1 電源の用意

本装置には専用の AC アダプタと電源ケーブルが付属しております。AC アダプタの出力コネクタを本装置の背面の AC アダプタ入力に接続してください。

### 3 - 2 ネットワークの初期設定

本装置をネットワークに接続するためにいくつかの設定を行います。実際に設定する前に以下の項目を決めておく必要があります。

項目	必須項目	例
本装置の IP アドレス		10.0.0.1
本装置のサブネットマスク		255.255.255.0
本装置のデフォルトゲートウェイ		10.0.0.254
伝送モード		自動認識
ネームサーバの IP アドレス	×	10.0.1.10
プロクシーホスト名、または、IP アドレス	×	host01
ホームページの URL、または、IP アドレス	×	10.0.0.10

：必ず設定しなければならない項目。

：DHCPサーバを使用する場合、設定する必要はない。

×：必ずしも設定する必要はない。

初めて電源を入ると初期設定画面が表示されます。ここでは、初期設定の方法を説明します。次の設定手順にしたがって本装置を設定してください。ここではDHCPサーバを使用する場合、使用しない場合それぞれについて最低限の設定を説明します。詳細な設定は7．**本装置の設定**を参照してください。

### 3 - 2 - 1 接続環境の設定

接続環境設定の画面が表示されます。ここでは、通信に必要な設定を行います。

接続環境	ブラウザ環境	メール環境	システム環境	表示環境	シリアル通信環境	終了
＜接続環境設定＞						
DHCP機能: <input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない						
IPアドレス: <input type="text"/>						
サブネットマスク: <input type="text"/>						
デフォルトゲートウェイ: <input type="text"/>						
第1名前サーバー: <input type="text"/>						
第2名前サーバー: <input type="text"/>						
MACアドレス: XXXXXXXXXXXX						
<input type="button" value="実行"/> <input type="button" value="中止"/>						

#### 3 - 2 - 1 - 1 DHCPサーバを使用する場合

DHCPサーバを使用する場合は、以下のように設定します。

##### DHCP機能の設定

DHCP機能を「使用する」に設定してください。

##### 伝送モードの設定

伝送モードを設定してください。通常は自動認識を選択してください。

このほかの項目は設定する必要がありません。以上の設定が終了したら、実行ボタンをタッチしてください。設定値を保存します。中止ボタンをタッチすると設定値は保存されません。

#### 3 - 2 - 1 - 2 DHCPサーバを使用しない場合

DHCPサーバを使用しない場合は、以下のようにネットワークのアドレスを設定します。

##### DHCP機能の設定

DHCP機能を「使用しない」に設定してください。

##### IPアドレスの設定

IPアドレスの入力フィールドをタッチしてください。ソフトウェアキーボードがあらわれます。これを使用してIPアドレスを入力してください。アドレスはピリオドで区切った10進の数値を入力します。

例: 10.0.0.1

**\*ソフトウェアキーボードの使用方法は、10．ソフトウェアキーボードを参照してください。**

### **サブネットマスクの設定**

サブネットマスクの入力フィールドをタッチしてください。ソフトウェアキーボードがあらわれます。これを使用してサブネットマスクの値を入力してください。アドレスはピリオドで区切った 10 進の数値を入力します。

例: 255.255.255.0

### **デフォルトゲートウェイ**

デフォルトゲートウェイの入力フィールドをタッチしてください。ソフトウェアキーボードがあらわれます。これを使用してデフォルトゲートウェイの IP アドレスの値を入力してください。

アドレスはピリオドで区切った 10 進の数値を入力します。デフォルトのゲートウェイを使用しない場合は、0.0.0.0 を入力してください。

例: 10.0.0.254

### **第 1 ネームサーバ、第 2 ネームサーバ**

ネームサーバの入力フィールドをタッチしてください。ソフトウェアキーボードがあらわれます。使用するネームサーバの IP アドレスを指定します。

ネームサーバを使用しない場合は設定を行う必要はありません。ネームサーバは 2 つまで設定することが可能です。1 つだけ設定してもかまいません。

例: 10.0.1.10

### **伝送モードの設定**

伝送モードを設定してください。通常は自動認識を選択してください。

以上の設定が終了したら、実行ボタンをタッチしてください。設定値を保存します。中止ボタンをタッチすると設定値は保存されません。

### 3 - 2 - 2 ブラウザ環境の設定

ここではプロクシー、ホームページ等の設定を行います。

<a href="#">接続環境</a>	<a href="#">ブラウザ環境</a>	<a href="#">メール環境</a>	<a href="#">システム環境</a>	<a href="#">表示環境</a>	<a href="#">シリアル通信環境</a>	<a href="#">終了</a>
＜ブラウザ環境設定＞						
プロクシーホスト: <input type="text"/>						
プロクシーポート: <input type="text" value="8080"/>						
プロクシー未使用ドメイン: <input type="text"/>						
ホームページ: <input type="text"/>						
画像データ読み込み: <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無						
最大同時接続数(1~4): <input type="text" value="4"/>						
メモリキャッシュ(0~1024): <input type="text" value="1024"/> KBytes						
<input type="button" value="実行"/> <input type="button" value="中止"/>						

#### プロクシーホストの設定

プロクシーホストを使用する場合に設定します。使用しない場合は設定は行わないでください。設定する場合は入力フィールドをタッチしてください。ソフトウェアキーボードがあらわれます。これを利用して入力してください。

ネームサーバを使用する場合のプロクシーの設定は、ホスト名を入力してください。(ホスト名の最後に『/』は付けしないでください。)

ネームサーバを使用しない場合は、プロクシーホストの IP アドレスを入力してください。アドレスはピリオドで区切った 10 進の数値を入力します。

例: host01	ホスト名で設定する場合
10.0.2.10	IP アドレスで設定する場合

#### プロクシーポート

プロクシーホストと接続する際のポート番号を指定します。入力フィールドをタッチするとソフトウェアキーボードがあらわれます。ポート番号を 10 進で入力してください。

#### ホームページ

電源 ON 時または、「ブラウザ画面のホームアイコンをタッチしたときに表示するホームページの URL を設定します。入力フィールドをタッチしてソフトウェアキーボードを表示させ URL を入力してください。

例: http://www.aaa.co.jp	ネームサーバ、または、プロクシーを設定している場合は URL 指定で可能。
http://10.0.0.10	IP で Web サーバを指定する場合。

#### 画像データ読み込み

画像データの読み込みの有無を設定してください。

## 最大同時接続数

サーバに同時に接続するソケットの最大数を 1~4 で設定してください。（デフォルトは 4 です。）

## メモリキャッシュ

メモリキャッシュ容量の大きさを 0~1024 (Kbyte 単位) で設定してください。0 に設置するとキャッシュ動作を行いません。（デフォルトは 1024 です）

以上の設定が終了したら、実行ボタンをタッチしてください。設定値を保存します。中止ボタンをタッチすると設定値は保存されません。

## 3 - 3 設定の完了

接続環境、ブラウザ環境の設定が完了したならば、LAN ケーブルを本装置に接続し、画面上部の『終了』ボタンをタッチします。正常に動作していれば、ホームページで設定した URL の画面が表示されます。

## 3 - 4 画面が表示されない場合

設定完了後、指定したホームページの画面の表示が行われない場合は、以下の項目を確認してください。

- 10BaseT ケーブルが正常に接続されているか確認してください。
- 本装置の IP、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイのアドレスが正しいか確認してください。
- ホームページの URL が正しいか確認してください。
- DHCP サーバを使用する場合は DHCP サーバが正常に動作しているか確認してください。
- DHCP サーバを使用しない場合は IP アドレス等が正しいか確認してください。
- プロクシーホストを設定している場合は URL または IP アドレスが正しいか確認してください。
- Web サーバが正常に動作しているか確認してください。

## 3 - 5 画面表示後の操作

画面表示が完了したあとの本装置の操作方法を説明します。

- 画面上にリンク先がある場合はアンダーラインで表示されます。その部分をタッチすることで画面遷移を行います。
- 「表示環境設定 スクロールバーの表示」で「常に表示」に設定している場合、または「表示環境設定 スクロールバーの表示」で「自動」に設定し画面に入りきらない画面を表示すると、右横、下にスクロールバーが表示されます。スクロールバーを移動させることで画面をスクロールすることが可能です。
- 「システム環境設定 ツールバーの表示形式」で「URL 表示」を選択している場合、画面最下行に表示されているツールバーを「システム環境設定 メニューポップアップ条件」で設定した方法でタッチすることでメニューを表示することができます。この場合、メニューをクローズするには、ツールバー以外の部分をタッチしてください。

戻る	前に表示した画面に戻る。
進む	「戻る」で戻ったときに戻る前の画面を表示します。
再読込	現在表示中の画面を再読み込みします。
ホーム	ホームページで設定した画面を表示します。
中止	画面の読み込みを中止します。
ジャンプ	URL を指定して任意の画面を表示します。
設定	管理者設定画面またはユーザ設定画面を表示します。

詳細は 8 - 2 ツールバーの表示を参照してください。

## 3 - 6 タッチパネルのキャリブレーション

タッチパネルタッチしたとき画面上のリンクやボタン等が入力しづらい場合は、キャリブレーションを行う必要があります。キャリブレーションの方法は 7 - 3 タッチパネルキャリブレーションを参照して

ください。

## 4 . 設置要領

### △注意

- 設置にあたっては、一般仕様の環境下でご使用ください。  
また、次のような場所での使用は避けてください。
  - 周囲温度、相対湿度が一般仕様の範囲を越える場所
  - 温度変化が急激で結露する場所
  - 腐食性ガス、可燃性ガス、溶剤・研削液などの雰囲気のある場所
  - 極端に塵埃、塩分、鉄分が多い場所
  - 直接、振動や衝撃が伝わるような場所
  - 長時間、直射日光が当たる場所
  - 雨、露などの水分が直接かかる場所
  - 強力なノイズを発生する機器、装置のある場所

### 4 - 1 設置

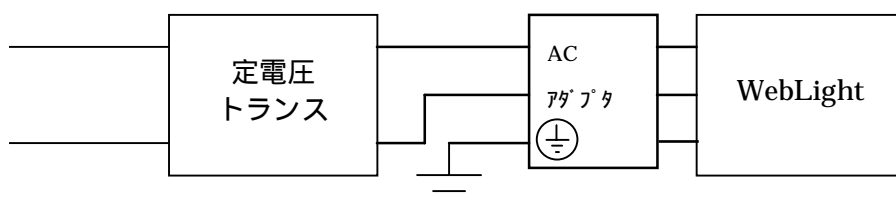
水平で安定した机、テーブル、などの上に置いて使用してください。

表示面の角度は上下に可変出来ますので見やすい角度に合わせてご使用ください。

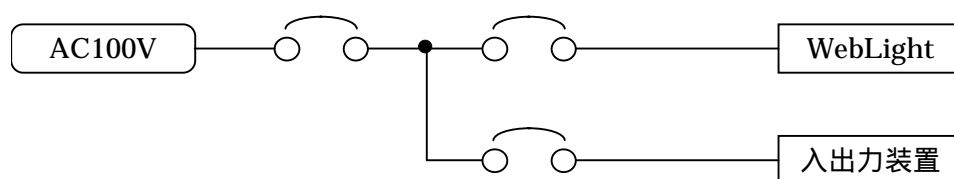
### 4 - 2 電源

本体と同梱の専用ACアダプタをご使用ください。

- ( 1 ) 電圧変動が規定値を越える場合は、定電圧トランスを接続してください。



- ( 2 ) 本装置の電源配線は、動力機器や入出力機器とは系統を分離して配線してください。

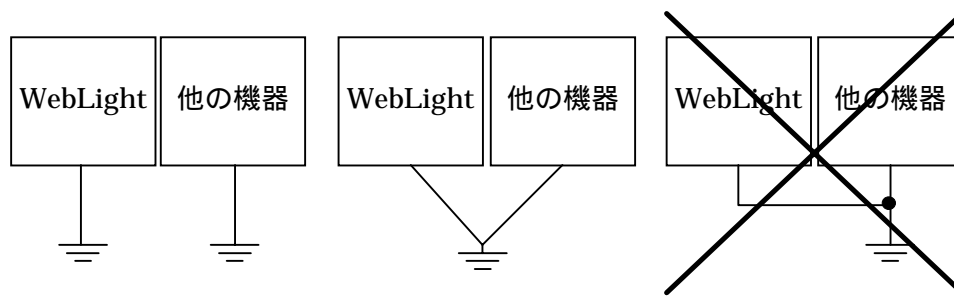


- ( 3 ) 電源にノイズの多い場合は、絶縁トランス（ノイズカットトランス）を入れてください。

- ( 4 ) 電源ケーブルは、本装置以外の高圧線や動力線、入出力信号線とは200mm以上離して配線してください。

#### 4 - 3 接地

( 1 ) 感電防止のため、A C アダプタの接地線は第 D 種接地 ( 接地抵抗 100 Ω 以下 ) をしてください。



#### 4 - 4 その他の結線

R S 2 3 2 C やイーサネットのケーブルは電源ケーブルやその他の高圧線や動力線、入出力信号線とは 200 mm 以上離して配線してください。

R S 2 3 2 C を使用して機器の接続をする場合は、R S 2 3 2 C ケーブルの本装置側にフェライトコア ( T D K Z C A T 3 0 3 5 - 1 3 3 0 相当 ) を挿入して接続してください。



## 5 . インターフェース仕様

### 5 - 1 10BASE - T

LANインターフェース  
コネクタ

IEEE802.3 10BASE-T  
RJ-45コネクタ

### 5 - 2 RS232C CH1

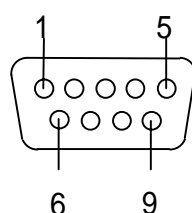
(1) 伝送仕様

NO	項 目	内 容
1	通信方式	全二重
2	同期方式	調歩同期方式
3	伝送距離	15m
4	接続形式	1:1
5	伝送速度	4800, 9600, 19200, 38400bps
6	データ形式	スタートビット: 1ビット ストップビット: 1, 2ビット データ長: 7, 8ビット パリティ: 偶、奇、無 (接続できる機器により固定)

(2) コネクタピン番号と信号名

ピン番号	信号名	方 向	内 容
1	DCD	入 力	キャリア検出
2	RD	入 力	受信データ
3	TD	出 力	送信データ
4	DTR	出 力	データ端子レディ
5	SG		信号GND
6	未使用		
7	RTS	出 力	送信要求信号
8	CTS	入 力	送信可能信号
9	未使用		

(3) コネクタピン配列 (本装置本体側)



D - SUBコネクタ (オス)

・適合コネクタ

プラグ: HDEB-9S (ヒロセ電機製) または同等品

シェル: HDE-CTH (ヒロセ電機製) または同等品

注) シェルのネジはM2.6タイプを推奨します。

## 6 . バックライト

本装置のカラーＬＣＤの照明には冷陰極管を使用したバックライトが使われています。  
バックライトは消耗品であり、表示の明るさが暗くなった場合は交換が必要です。  
バックライトの交換については、弊社営業部または、ご購入の代理店にご相談ください。

### ⚠注意

- バックライトは以下のような使い方をされますと輝度及び寿命が大幅に低下します。
  - 低い周囲温度（５℃以下）での使用。  
ヒーターの設置やできるだけ常温に近い環境での使用をおすすめします。  
やむを得ずご使用される場合は定期的なバックライト交換をおすすめします。
  - 頻繁なバックライトのＯＮ／ＯＦＦ
- 通常使用時（常温）では、２００００ｈ以上の寿命が有りますが、低温時（５℃以下）では、寿命が１／２０以下になることがあります。

## 7．本装置の設定

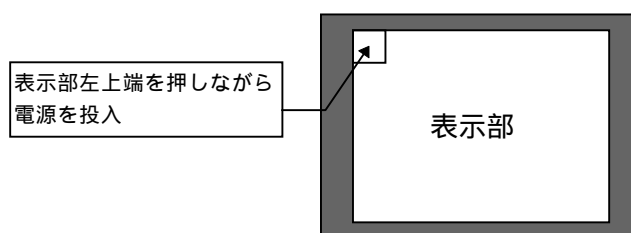
### 7 - 1 管理者設定

管理者設定画面では、本装置のすべての環境設定をおこなうことができます。

「接続環境設定 DHCP機能」を「使用しない」に設定している場合に接続環境のIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが未設定の場合は、電源を投入すると以下の画面が表示されます。画面上部のフレームの接続環境スイッチをタッチすると管理者設定の接続環境画面が表示されます。

<a href="#">接続環境</a>	<a href="#">ブラウザ環境</a>	<a href="#">メール環境</a>	<a href="#">システム環境</a>	<a href="#">表示環境</a>	<a href="#">シリアル通信環境</a>	<a href="#">終了</a>
接続環境設定を行ってください						

また、表示部の左上端をタッチしたまま電源を投入すると、管理者設定の画面を表示するためのパスワード画面が表示されます。



このとき、以下の画面が表示されますので、下記のパスワードを入力してください。管理者設定画面が表示されます。

パスワード：t7391 \*パスワードの変更はできません。

The screenshot shows a password entry screen. At the top, there is a long white input field. To the right of the input field is a button labeled 'はい' (Yes). The background of the screen is gray.

各設定画面の設定値は、入力フィールドまたは選択ボタンで設定することができ、現在の設定値が表示されています。

入力フィールドをタッチすると、画面上にソフトウェアキーボードが表示されますので、これを利用して設定値を入力してください。入力後、キーボードの終了ボタンをタッチするとキーボードが閉じて設定値が入力フィールドに表示されます。

選択の場合は設定値の選択ボタンをタッチして選択してください。

設定終了後は、実行ボタンをタッチしてください。設定値が保存されます。中止ボタンをタッチする

と設定値の変更を中止し、現在の設定値を再表示します。

### 7 - 1 - 1 接続環境設定

本装置をネットワークに接続するための環境を設定します。

<a href="#">接続環境</a>	<a href="#">ブラウザ環境</a>	<a href="#">メール環境</a>	<a href="#">システム環境</a>	<a href="#">表示環境</a>	<a href="#">シリアル通信環境</a>	<a href="#">終了</a>
＜接続環境設定＞						
DHCP機能： <input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない						
I P アドレス： <input type="text"/>						
サブネットマスク： <input type="text"/>						
デフォルトゲートウェイ： <input type="text"/>						
第1ネームサーバー： <input type="text"/>						
第2ネームサーバー： <input type="text"/>						
MACアドレス： XXXXXXXXXXXX						
<input type="button" value="実行"/> <input type="button" value="中止"/>						

D H C P 機能	本装置の D H C P 機能の使用 / 未使用を設定します。
I P アドレス	本装置の I P アドレスを ddd.ddd.ddd.ddd の形式で記述します。 ( d は 10 進数 ) D H C P 機能を使用する場合は設定不用です。
サブネットマスク	サブネットマスクを ddd.ddd.ddd.ddd の形式で記述します。 D H C P 機能を使用する場合は設定不用です。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイの I P アドレスを ddd.ddd.ddd.ddd の形式で記述します。 D H C P 機能を使用する場合は設定不用です。
第 1 ネームサーバー	第 1 ネームサーバーの I P アドレスを ddd.ddd.ddd.ddd の形式で記述します。 D H C P 機能を使用する場合は設定不用です。
第 2 ネームサーバー	第 2 ネームサーバーの I P アドレスを ddd.ddd.ddd.ddd の形式で記述します。 D H C P 機能を使用する場合は設定不用です。
M A C アドレス	本装置の M A C アドレスを表示します。

## △注意

- ネームサーバを指定していて、ネットワークのケーブルがはずれていたり、ネームサーバのアドレスが正しくない場合には、ブラウザ画面の最下位行または最上位行のツールバーが表示されるまでに数分かかります。  
このような場合にはネットワークのケーブルを正しく接続するか、ネームサーバのアドレスを正しいものに設定するかネームサーバが正しく動作しているかどうか確認してください。

### 7 - 1 - 2 ブラウザ環境設定

ブラウザがデータを取得するための環境を設定します。

<a href="#">接続環境</a>	<a href="#">ブラウザ環境</a>	<a href="#">メール環境</a>	<a href="#">システム環境</a>	<a href="#">表示環境</a>	<a href="#">シリアル通信環境</a>	<a href="#">終了</a>
＜ブラウザ環境設定＞						
プロクシーホスト： <input type="text"/>						
プロクシーポート： <input type="text" value="8080"/>						
プロクシー未使用ドメイン： <input type="text"/>						
ホームページ： <input type="text"/>						
画像データ読み込み： <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無						
最大同時接続数(1～4)： <input type="text" value="4"/>						
メモリキャッシュ(0～1024)： <input type="text" value="1024"/> KBytes						
<input type="button" value="実行"/> <input type="button" value="中止"/>						

プロクシーホスト	外部のネットワークにアクセスする代理サーバのホスト名を記述します。
プロクシーポート	外部へアクセスするポート番号を指定します。 (デフォルトは8080です)
プロクシー未使用ドメイン	プロクシーを使用しないドメインを記述します。“,”で区切ることで複数 のドメインを指定できます。
ホームページ	起動時及びツールバーの「ホーム」を選択したときに読み込むURL を指定します。  * URL指定の際には、必ずhttp://を含めてください。
画像データ読み込み	GIF, JPEG等の画像データを表示するしないかを指定します。
最大同時接続数	サーバに同時に接続するソケットの最大数を1～4で設定します。

(デフォルトは4です)

#### メモリキャッシュ

メモリキャッシュ容量の大きさを0～1024で設定します。0に設置するとキャッシュ動作を行いません。(デフォルトは1024です)

### 7 - 1 - 3 メール環境設定

メールの動作環境を設定します。

<a href="#">接続環境</a>	<a href="#">ブラウザ環境</a>	<a href="#">メール環境</a>	<a href="#">システム環境</a>	<a href="#">表示環境</a>	<a href="#">シリアル通信環境</a>	<a href="#">終了</a>
＜メール環境設定＞						
メール機能: <input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない						
SMTPサーバ名: <input type="text"/>						
POPサーバ名: <input type="text"/>						
メールアカウント: <input type="text"/>						
メールパスワード: <input type="text"/>						
メールアドレス: <input type="text"/>						
ドメイン名: <input type="text"/>						
発信者名: <input type="text"/>						
署名: <input type="text"/>						
受信メール自動削除: <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有						
新着メール確認間隔時間: <input type="text" value="0"/> 分						
<input type="button" value="実行"/> <input type="button" value="中止"/>						

#### メール機能

本装置のメール機能の使用 / 未使用を設定します。

#### SMTPサーバ名

メールサーバ (SMTP) のサーバ名を設定します。

#### POPサーバ名

メールサーバ (POP) のサーバ名を設定します。

#### メールアカウント

メールサーバに登録したログイン名を設定します。

#### メールパスワード

メールサーバに登録したパスワードを設定します。

#### メールアドレス

本装置で使用するメールアドレスを設定します。

#### ドメイン名

上記のメールアドレスのドメイン名部分 (@の右側部分全部) を設定します。

#### 発信者名

メールの発信者の名前を設定します。

署名	メールを作成するときに本文の末尾に引用される署名を設定します。
受信メール自動削除	受信したメールをサーバーから削除するかどうかを設定します。
着信メール確認時間	メールサーバーに着信した新着メールを本装置がチェックする時間間隔を設定します。99分まで1分単位で設定可能です。着信メールのチェックを行わない場合は0分に設定してください。

#### 7 - 1 - 4 システム環境設定

システムの動作環境を設定します。

接続 環境	ブラウザ 環境	メール 環境	システム 環境	表示 環境	シリアル 通信環境	終了
＜システム環境設定＞						
キーボードタイプ: <input checked="" type="radio"/> ソフト <input type="radio"/> ハード(直接入力) <input type="radio"/> ハード(間接入力) コントロールのフォーカス色: <input checked="" type="radio"/> 黒 <input type="radio"/> 赤 スイッチクリック音: <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 ツールバーの表示形式: <input checked="" type="radio"/> URL表示 <input type="radio"/> メニュー表示(下) <input type="radio"/> メニュー表示(上) <input type="radio"/> 表示しない 動作中の設定移行: <input checked="" type="radio"/> 管理者設定 <input type="radio"/> ユーザ設定 <input type="radio"/> 移行しない メニューポップアップ条件: <input checked="" type="radio"/> 最下行 <input type="radio"/> 最下行左端 <input type="radio"/> 最下行左端→右端→中央 <input type="radio"/> 開かない スピーカ音量: <input type="radio"/> 0 <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 6 <input type="radio"/> 7 System Version: VX.XX System Sum: XXXX						
<input type="button" value="実行"/> <input type="button" value="中止"/>						

キーボードタイプ	ソフト	: 画面上に表示されるキーボードを使用する場合に指定します。
	ハード(直接入力)	: バーコードリーダや磁気カードリーダ等を使用する場合に指定します。 入力フィールドに直接データを入力します。
	ハード(間接入力)	: バーコードリーダや磁気カードリーダ等を使用する場合に指定します。 データ入力時に入力ウインドウが表示されます。
	外付けの入力装置を接続しない場合はソフトにしてください。	
コントロールのフォーカス色	入力フィールドやフレームをタッチしたときに、入力対象であることを示す枠の色を指定します。	
スイッチクリック音	入力フィールドやリンク等をタッチしたときのブザー音の有無を指定します。	



ツールバーの表示	<p>URL表示 : 画面下部にURL形式で表示します。</p> <p>メニュー表示(下) : 画面下部にメニュー形式で表示します。</p> <p>メニュー表示(上) : 画面上部にメニュー形式で表示します。</p> <p>表示しない : ツールバーを表示しません。 (全画面表示になります。)</p>
動作中の設定移行	<p>本装置の動作中にツールバーの設定アイコンがタッチされたときに表示される設定画面の種類を選択します。</p> <p>管理者設定 : 管理者が設定する項目の設定画面を表示します。</p> <p>ユーザ設定 : ユーザが設定する項目の設定画面を表示します。</p> <p>移行しない : 設定アイコンを表示しません。</p>
メニューポップアップ条件	<p>ツールバーの表示でURL形式に設定しているときに、ツールバーを表示させる条件を指定します。</p> <p>最下行 : URL形式表示のどの部分をタッチしてもツールバーが表示されます。</p> <p>最下行左端 : URL形式表示の左端をタッチしたときのみツールバーが表示されます。</p> <p>最下行左端 右端 中央 : URL形式表示の左端、右端、中央の順番にタッチしたときのみツールバーが表示されます。</p> <p>開かない : ツールバーは表示されません。</p> <p><b>* 本設定は「ツールバーの表示形式」で「URL表示」を設定した場合のみ有効です。「ツールバーの表示形式」で「メニュー表示(下)」または「メニュー表示(上)」を設定した場合ツールバーは、常に画面最下行または最上行に表示されます。</b></p>
スピーカ音量	<p>スピーカの音量を設定します。</p> <p>0 : スピーカをオフにします。(音はでません。)</p> <p>1~7 : スピーカの音量を設定します。数値の大きい方が大きな音量となります。</p>
System Version	システムプログラムのバージョン名を表示します。
System Sum	システムプログラムのサム値を表示します。

## 7 - 1 - 5 表示環境設定

システムの表示環境を設定します。

<a href="#">接続環境</a>	<a href="#">ブラウザ環境</a>	<a href="#">メール環境</a>	<a href="#">システム環境</a>	<a href="#">表示環境</a>	<a href="#">シリアル通信環境</a>	<a href="#">終了</a>
＜表示環境設定＞						
スクロールバーの表示： <input checked="" type="radio"/> 自動 <input type="radio"/> 常に非表示 <input type="radio"/> 常に表示						
スクロールバーの幅： <input type="text" value="30"/> pixel						
スクロールノブ自動消去： <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無						
スクロールボタン： <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無						
フレーム枠の表示： <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無						
リンクイメージのボーダ幅： <input type="text" value="4"/> pixel						
行間： <input type="text" value="0"/> pixel						
バックライトの明るさ： <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 6 <input type="radio"/> 7 <input checked="" type="radio"/> 8						
バックライト消灯時間： <input type="text" value="0"/> 分						
<input type="button" value="実行"/> <input type="button" value="中止"/>						

### スクロールバーの表示

スクロールバーの表示方法を設定します。

自動：表示する画面に応じてスクロールバーの表示 / 非表示が行われます。

常に非表示：常にスクロールバーは表示されません。

常に表示：常にスクロールバーが表示されます。

### スクロールバーの幅

スクロールバーの幅を設定します。1 から 30 の値で設定が可能ですが、10 以下に設定すると操作に支障が発生するのでお勧めできません。

### スクロールノブ自動消去

リストボックス、テキストボックスのスクロールボックスでエレベータを表示するか、しないかを選択します。

### スクロールボタン

スクロールバーの上下（左右）にある矢印形状のボタンの表示をするかしないかを選択します。

### フレーム枠の表示

選択されているフレームの外枠にコントロールのフォーカス色で設定した色で枠を表示するかしないかを設定します。

### リンクイメージのボーダ幅

リンクイメージのボーダ幅を指定します。

### 行間

本文の行間を指定します。

### バックライトの明るさ

バックライトの明るさを8段階で調整します。  
8が最も明るく、1が最も暗くなります。

## バックライト消灯時間

指定した時間の間タッチパネルをタッチしない場合に表示をOFFにします。99分まで1分単位で設定可能です。表示を常にONにするには、0分と指定してください。

## 7 - 1 - 6 シリアル通信環境設定

外部接続機器とのシリアル通信環境を設定します。

<a href="#">接続環境</a>	<a href="#">ブラウザ環境</a>	<a href="#">メール環境</a>	<a href="#">システム環境</a>	<a href="#">表示環境</a>	<a href="#">シリアル通信環境</a>	<a href="#">終了</a>
＜シリアル通信環境設定＞						
CH1：ドライバ未ダウンロード						
使用： <input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> しない						
通信速度(bps)： <input type="radio"/> 4800 <input checked="" type="radio"/> 9600 <input type="radio"/> 19200 <input type="radio"/> 38400						
パリティ： <input type="radio"/> NONE <input checked="" type="radio"/> EVEN <input type="radio"/> ODD						
データ長： <input type="radio"/> 7bit <input checked="" type="radio"/> 8bit						
ストップビット： <input checked="" type="radio"/> 1bit <input type="radio"/> 2bit						

### ドライバ名称

ダウンロードされているシリアル通信ドライバの名称を表示します。  
ダウンロードされていない場合は“ドライバ未ダウンロード”と表示されます。

### 使用

外部接続機器を使用するかしないかを指定します。ドライバがダウンロードされていない場合は“する”に設定しても使用できません。

### 通信速度(bps)

通信速度を指定します。

### パリティ

パリティチェックを指定します。

### データ長

データ長を指定します。

### ストップビット

ストップビットを指定します。

### 7 - 1 - 7 管理者設定の終了

管理者設定画面を終了し、運転画面に移行します。

- 以下の設定を行った場合、再初期化のため本装置は再起動します。
  - ・ 接続環境設定で実行ボタンをタッチした場合
  - ・ ブラウザ環境の最大接続数の設定を変更した場合
  - ・ ブラウザ環境のメモリキャッシュの設定を変更した場合
  - ・ メール環境のメール機能（使用する / 使用しない）の設定を変更した場合
  - ・ システム環境のツールバーの表示形式の設定を変更した場合
  - ・ システム環境の動作中の設定移行の設定を変更した場合
  - ・ 表示環境のスクロールバーの表示の設定を変更した場合
  - ・ 表示環境のフレーム枠の表示の設定を変更した場合

### 7 - 2 ユーザ設定

ユーザ設定画面は、「管理者設定 システム環境設定 動作中の設定移行」をユーザ設定にしておくと、本装置が動作中にツールバーの設定アイコンがタッチされると表示されます。

ユーザ設定画面では本装置のユーザ環境設定、メール環境設定を行うことが可能です。

<ユーザ環境設定>

スイッチクリック音：☒有 ☐無

スピーカ音量：☐0 ☐1 ☐2 ☐3 ☒4 ☐5 ☐6 ☐7

バックライト輝度：☐1 ☐2 ☐3 ☐4 ☐5 ☐6 ☐7 ☒8

バックライト消灯時間：分

System Version：VX.XX-XXXX

<メール環境設定>

メール発信者名：

メール署名：

設定する

設定しない

### 7 - 2 - 1 ユーザ環境設定

本装置の使用環境に応じて設定する項目です。

スイッチクリック音	入力フィールドやリンク等をタッチしたときのブザー音の有無を指定します。
スピーカー音量	スピーカの音量を設定します。 0 : スピーカをオフにします。(音はでません。) 1~7 : スピーカの音量を設定します。数値の大きい方が大きな音量となります。
バックライトの明るさ	バックライトの明るさを8段階で調整します。 8が最も明るく、1が最も暗くなります。
バックライト消灯時間	指定した時間の間タッチパネルをタッチしない場合に表示をOFFにします。99分まで1分単位で設定可能です。表示を常にONにするには、0分と指定してください。
System Version	システムプログラムのバージョン名を表示します。

### 7 - 2 - 2 メール環境設定

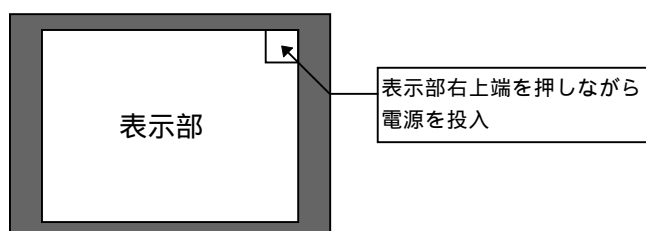
本装置に設定するメールに関する項目です。以下の項目は、「管理者設定 メール環境 メール機能」が使用するに設定されているときのみ表示されます。

メール発信者名	メールの発信者の名前を設定します。メールを受信した側では、ここで設定した名前が差出人として表示されます。
メール署名	メールを作成するときに本文に引用される文字列を設定します。特に決まりはありませんが、一般的には4行迄で記述します。

### 7 - 3 タッチパネルキャリブレーション

本装置は工場出荷時にタッチパネルのキャリブレーション調整を行ってあります。再調整が必要な場合は、以下の手順で設定を行ってください。

表示部の右上端をタッチしたまま電源を投入します。



タッチパネルキャリブレーション設定画面が表示されます。

画面の指示通りに左上端、左下端、右上端、右下端の4点のできるだけ画面の端を順にタッチしてください。

4点タッチされたあと、設定値を保存して再起動します。

### 7 - 4 運転の前に

初めて運転される場合は、運転を開始する前に以下の項目を確認ください。

- 各種システム設定は正しく行われていますか。
- コネクタは正しく装着されていますか。
- 電源は正しく供給されていますか。

- 配線は正しく接続されていますか。

## 8 . ツールバー

### 8 - 1 ブラウザ画面

本装置が通常運転している場合の画面です。この画面には、サーバから読み込んだ画面とツールバーが表示されます。(ツールバーは設定により表示されない場合もあります。)ツールバーの表示形式には URL 形式とメニュー形式の 2 種類があります。

「システム環境 ツールバーの表示形式」で「URL表示」を選択した場合の表示



ツールバーには、通信インジケータ、URL、メール着信アイコンが表示されます。

**通信インジケータ** 通信中は流れるように表示されます。

**URL** 現在の表示しているページの URL が表示されます。

「システム環境 ツールバーの表示形式」で「メニュー表示(下)」または「メニュー表示(上)」を選択した場合の表示



**通信インジケータ** 通信中は流れるように表示されます。

**アイコン** 8 - 2 ツールバーの表示で説明される動作をします。

\* ツールバーは、「メニュー表示(下)」を選択しているときは画面下に、「メニュー表示(上)」を選択しているとき画面上に表示します。

### 8 - 2 ツールバーの表示

ブラウザ画面に表示されるツールバーは、「システム環境設定 ツールバーの表示形式」で設定された形で表示されます。URL 形式の場合は、「システム環境設定 メニューポップアップ条件」で設定した方法でタッチすると表示されます。メニュー形式に設定している場合、「システム環境設定 ツールバーの表示形式」で設定した場所に表示されます。

URL 形式のツールバーの表示を閉じるには、ツールバー以外の部分をタッチすると元の状態に戻ります。メニュー形式のツールバーは常に表示されます。

ツールバーには、戻る、進む、再読み込み、ホーム、中止、ジャンプ、設定、のアイコンがあります。

「URL表示」 アイコン	「メニュー表示」 アイコン	機能	説明
		戻る	現在表示している画面のひとつ前の画面を表示します。
		進む	現在表示している画面のひとつあとの画面を表示します。

「URL表示」 アイコン	「メニュー表示」 アイコン	機能	説明
		再読込	現在表示中の画面を再読み込みします。
		ホーム	「ホームページ」で指定したページを表示します。 ホームページの指定はブラウザ環境設定画面で行います。
		中止	画面の読み込みを中止します。
	表示されません	ジャンプ	URL を指定するキーボードを表示します。 キーボードに入力された URL にジャンプします。
		設定	管理者設定画面またはユーザ設定画面が表示されます。 「動作中のシステム設定移行」の設定が「移行しない」になっている場合は表示されません。
		メール着信	メールサーバにメールが着信したことを知らせます。 メニュー形式の表示のとき、アイコンをタッチするとメールメニュー画面が表示されます。 URL 形式のときはアイコンをタッチしてもメールメニュー画面は表示されません。

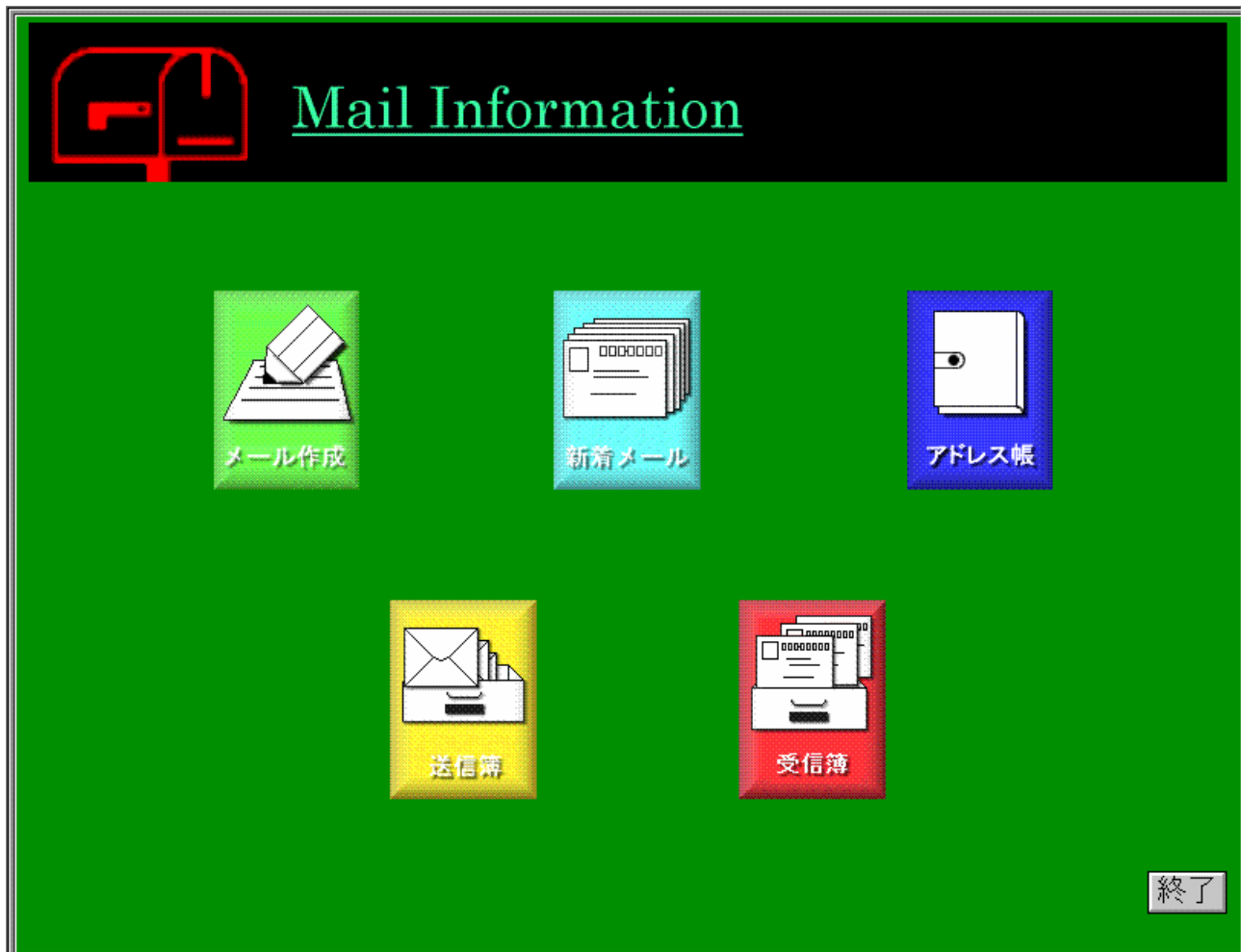


## 9 . メール画面

### 9 - 1 メールメニュー画面の呼び出し

メールメニュー画面は、HTML ドキュメントに記述したリンクをタッチすることにより表示できます。または、ツールバーのメール着信アイコンをタッチすることで表示されます。HTML ドキュメントの記述方法については 11 . HTML ドキュメント作成資料の 11 - 4 メールメニュー画面への移行を参照してください。

メールメニュー画面には以下の 5 種類のアイコンと 1 種類のボタンが表示されます。



## 9 - 2 メール作成

メールを書くためにメール作成画面が表示されます。メールの宛先や本文等を入力してください。

メール作成画面には新規・返信・転送の3種類のモードがあり、現在のモードは画面上部に表示されます。各モードともメール作成の機能は同じですが、メール作成画面を終了したときに表示される画面が違います。ここでは新規モードについて説明します。返信モードについては9 - 5 - 1 受信メールの返信を、転送モードについては転送を参照してください。

### <表示の説明>

#### 宛先

メールを送りたい相手のアドレスを入力してください。

宛先のあとの空欄をタッチするとキーボードが表示されるので、アドレスを入力してください。複数の相手に送る場合は、アドレスを「,」で区切って入力してください。表示の幅を越える部分は表示されません。

アドレス帳を使うと、すでに登録されている相手のアドレスを簡単に入力することができます。アドレス帳アイコンをタッチすると一覧が表示されます。この一覧の中から相手のアドレスを選んで決定をタッチしてください。宛先の欄に選んだ相手のアドレスが表示されます。中止をタッチするとアドレスは表示されません。複数のアドレスを入力するときの「,」は自動的に入力されますので、アドレスを次々に選択するだけで入力が完了します。

複写先	宛先に入力したアドレスの相手以外に、このメールを送信したい相手のアドレスを入力します。 <b>複写先</b> のあとの空欄をタッチして入力してください。表示幅を超える部分は表示されません。 ここでも、アドレス帳を使って入力することができます。
題名	このメールのタイトルを入力します。 <b>題名</b> のあとの空欄をタッチして入力してください。表示幅を超える部分は表示されません。
本文	メールの本文を入力してください。 <b>本文</b> のあとの大きな空欄をタッチして入力してください。表示領域を超える部分はスクロールバーでスクロールすると表示されます。 <b>* 本装置で送信できるメールの大きさは約30Kbyteまでです。これを超えた部分は送信されません。</b>
<b>&lt; ボタンの説明 &gt;</b> <b>送信</b>	
<b>あとで送信</b>	
<b>やめる</b>	

作成したメールをすぐに送信します。本装置では、約30KByte（メールヘッダを含む）までのメールを送信することができます。  
 送信中はメッセージが表示され、終了するとメール作成画面を呼び出した画面が表示されます。送信したメールは50本まで**送信簿に保存されます**。  
 宛先にアドレスが入力されていないとエラーメッセージが表示されます。**はい**をタッチするとメール作成画面に戻ります。  
 送信に失敗するとエラーメッセージが表示されます。**はい**をタッチするとメニュー画面が表示されます。このとき送信できなかったメールは**送信簿に保存されます**。送信メール一覧を見ると、未送セルにマーク（ ）が付いています。

今作成したメールをすぐに送信せずに、あとで送信します。  
 ボタンをタッチすると、保存中メッセージが表示されたあとメール作成画面を呼び出した画面が表示され、送信したメールが**送信簿に保存されます**。保存したメールを送信するには、送信簿アイコンをタッチしメール作成画面を表示して行います。  
 メール作成画面のすべての入力項目に一つも入力がないとメッセージが表示され、**はい**をタッチするとメール作成画面を呼び出した画面が表示されます。このときのメールは**保存されません**。

作成したメールを送信せずに終了します。  
 ボタンをタッチすると確認のメッセージが表示されます。**はい**をタッチするとメニュー画面を呼び出した画面が表示されます。**いいえ**をタッチするとメール作成画面に戻ります。

### 9 - 3 送信簿

メール作成画面で作成したメールの一覧が表示されます。一覧には最後に作成したメールが先頭から順次、表示されます。画面上部には、一覧のページ数と保存しているメールの総数、未送信のメール数が表示されます。

2/3ページ

未送信23通／36通



送信簿

未送	宛先	題名	削除
	<hana@penguin>	RE: キャンプに行こう！	<input type="checkbox"/>
	<taro@penguin>	RE: ペンギン型のロボットが欲しい	<input type="checkbox"/>
	<yamari@penguin>		<input type="checkbox"/>
	<hana@penguin>		<input checked="" type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>

メニューへ

前ページ

次ページ

全削除

削除

**< 表示の説明 >**

未送セル

未送信のメールにマーク（ ）が付き  
メールを送信するとマーク（ ）は自動的に消えます。

宛先セル


メールの送り先アドレスが表示されます。表示幅を越える部分は...で表示されます。

## 題名セル

メールの題名が表示されます。表示幅を越える部分は...で表示されます。このセルをタッチするとメール作成画面が表示され、メールの修正をしたり、送信したりすることができます。

\* この画面での各機能は新規メール作成画面と同じですが、各機能を終了したあとは送信メール一覧が表示されます。

## 削除セル

削除したいメールを指定します。  
セルの中の  をタッチするとチェック ( × ) が表示され、削除の対象となります。削除ボタンをタッチするとそのメールが削除されます。

\* 削除セルのチェック ( × ) は表示しているページ内でのみ有効で、別のページが表示されるとチェックが解除されます。

#### < ボタンの説明 >

メニューへ	送信簿を終了してメニュー画面に移行します。
前ページ	送信メール一覧の前ページが表示されます。
次ページ	送信メール一覧の次ページが表示されます。
全削除	<p>保存されているメールをすべて削除します。</p> <p>ボタンをタッチすると確認メッセージが表示されます。<b>はい</b>をタッチするとすべてのメールが消去され、送信メール一覧が表示されます。<b>いいえ</b>をタッチするとメールは消去されずに、そのまま送信メール一覧が表示されます。</p> <p><b>* 全削除ボタンは削除セルのチェック ( × ) の有無にかかわらず、すべてのメールを削除します。</b></p>
削除	<p>保存されているメールを削除します。</p> <p>削除セルでチェック ( × ) されているメールがすべて削除されます。</p> <p><b>* 削除セルのチェック ( × ) は表示しているページ内でのみ有効で、別のページが表示されるとチェック ( × ) が解除されます。</b></p>

## 9 - 4 新着メール

サーバに着信しているメールをダウンロードします。

「新着メール」をタッチすると、メール受信中のメッセージが表示されサーバに保存されているメールをダウンロードします。受信したメールは受信簿に 50 本まで保存されます。サーバに保存されているメールは本装置の設定により、ダウンロード時にサーバから消去することができます。この指定は **7 - 1 管理者設定の 7 - 1 - 3 メール環境設定の受信メール自動削除**で行います。

新着メールアイコンをタッチするとサーバからのメールのダウンロードが始まります。

新着メールがある場合は、ダウンロードが終了すると受信完了のメッセージとメール受信数が表示され、受信簿を開くかどうか聞かれます。受信したメールを読みたいときは、**はい**をタッチしてください。受信簿画面が表示されます。受信したメールを読まないときは、**いいえ**をタッチしてください。メニュー画面が表示されます。

新着メールが無いときは、未着信のメッセージが表示されます。**はい**をタッチするとメニュー画面が表示されます。

本装置では、ヘッダー部まで含めて約 20Kbyte までのメールが受信できます。これを越えるメールを受信すると約 20Kbyte 分だけ保存し、越えた分は削除されます。このメールを受信簿で見ると、保存された分だけが表示され、最終行に「このメールは大きすぎるので、約 20KB だけ保存しました。」と表示されます。

## 9 - 5 受信簿

受信したメールの一覧が表示されます。一覧には最後に受信したメールが先頭から順次、表示されます。画面上部には、一覧のページ数と受信メールの総数、未読メールの数が表示されます。

\* 表示順は本装置がメールを受信した順です。表の送信日時の順ではありません。

2/3ページ 未読23通／30通				
受信簿				
未読	差出人	送信日時	題名	削除
●	“佐藤太郎” <taro@penguin>	1999/09/07 20:02	RE: ペンギン型ロボットが欲...	<input type="checkbox"/>
●	“鈴木一郎” <sichiro@lascal>	1999/09/07 19:59	RE: キャンプに行きましょう！	<input type="checkbox"/>
●	“田中花子” <hana@penguin>	1999/09/04 23:59	RE: キャンプに行きましょう！	<input type="checkbox"/>
	“鈴木紀子” <norichan@penguin>	1999/09/07 19:42	キャンプに行きましょう！	<input type="checkbox"/>
●	“北地恵子” <kyata@amedeo>	1999/09/07 19:36		<input type="checkbox"/>
●	“北地恵子” <kyata@amedeo>	1999/09/07 19:34		<input type="checkbox"/>
●	x x x x x <****@****. **, **>	1999/09/07 19:25		<input type="checkbox"/>
	x x x x x <****@****. **, **>	1999/09/07 19:23		<input checked="" type="checkbox"/>
●	x x x x x <****@****. **, **>	1999/09/06 15:58		<input type="checkbox"/>
●	x x x x x <****@****. **, **>	1999/09/06 15:42		<input type="checkbox"/>
	x x x x x <****@****. **, **>	1999/09/05 01:17		<input checked="" type="checkbox"/>
	x x x x x <****@****. **, **>	1999/09/05 01:17		<input checked="" type="checkbox"/>
	x x x x x <****@****. **, **>	1999/09/04 23:29		<input checked="" type="checkbox"/>
	x x x x x <****@****. **, **>	1999/09/04 22:57		<input checked="" type="checkbox"/>

メニューへ

前ページ

次ページ

全削除

削除

### <表示の説明>

#### 未読セル

未読のメールにマーク（●）がつきます。  
題名セルをタッチしてメールを読むとマーク（●）は自動的に消えます。

#### 差出人セル

メールの差出人のアドレスが表示されます。表示幅を越える部分は...で表示されます。

#### 送信日時

差出人がメールを送信した日時が表示されます。

#### 題名セル

メールの題名が表示されます。表示幅を越える部分は...で表示されます。  
このセルをタッチすると受信メール画面が表示され、メールを読むことができます。

#### 削除セル

削除したいメールを指定します。  
セルの中の ☐ をタッチするとチェック（x）が表示され、削除の対象となります。削除をタッチするとそのメールが削除されます。

\* 削除セルのチェック（x）は表示しているページ内でのみ有効で、別のページが表示されるとチェックが解除されます。

### < ボタンの説明 >

メニューへ	受信簿を終了してメニュー画面へ移行します。
前ページ	受信メール一覧の前のページが表示されます。
次ページ	受信メール一覧の次のページが表示されます。
全削除	<p>保存されているメールをすべて削除します。</p> <p>ボタンをタッチすると、確認メッセージが表示されます。はいをタッチするとメールがすべて消去されて受信メール一覧が表示されます。いいえをタッチするとメールは消去されずにそのまま受信メール一覧が表示されます。</p> <p><b>* 「全削除」は削除セルのチェック ( × ) の有無にかかわらず、すべてのメールを削除します。</b></p>
削除	<p>保存されているメールを削除します。</p> <p>ボタンをタッチすると、削除セルでチェック ( × ) されているメールがすべて削除されます。</p> <p><b>* 削除セルのチェック ( × ) は表示しているページ内でのみ有効で、別のページが表示されるとチェック ( × ) が解除されます。</b></p>

## 9 - 5 - 1 受信メール

受信したメールの内容が表示されます。画面上部には、このメールが未読であるか既読であるかが表示されます。

未読	
受信簿	
メニューへ	前メール 次メール アドレス登録 削除 返信 転送 戻る
■差出人	"鈴木 太郎"<taro@penguin>
■宛先	"田中 花子"<hana@penguin>
■複写先	
■題名	ペンギン型ロボットが欲しい
■送信日時	Tue, 07 Sep 1999 22:48:49 +0900
■本文	こんにちは。 -----

## < ボタンの説明 >

メニューへ	受信簿を終了してメニュー画面へ移行します。
前メール	受信簿の受信メール一覧での前のメールが表示されます。
次メール	受信簿の受信メール一覧での次のメールが表示されます。
アドレス登録	<p>メールの差出人、宛先、複写先に含まれるアドレスを登録します。 ボタンをタッチすると一括登録アドレス帳画面が表示されます。操作方法については <b>9 - 6 アドレス帳の 9 - 6 - 2 アドレス一括登録</b> を参照してください。</p> <p><b>* 差出人アドレス、宛先アドレス、複写先アドレスが登録する対象となり、一括登録アドレス帳画面の一覧表に表示されます。</b></p>
削除	<p>表示しているメールを削除します。 ボタンをタッチすると確認メッセージが表示されます。<b>はい</b> をタッチするとメールが削除されて受信メール一覧が表示されます。<b>いいえ</b> をタッチするとそのまま受信メール画面が表示されます。</p>
返信	<p>表示している受信メールに返信を書きます。 ボタンをタッチすると、まず複写先の確認メッセージが表示されます。<b>はい</b> をタッチすると、表示しているメールの宛先・複写先に含まれているアドレスが返信メールの複写先に引用されて、全員宛での返信になります。<b>いいえ</b> をタッチすると、アドレスは引用されず差出人のみへの返信になります。 次に、本文の引用を確認するメッセージが表示されます。<b>はい</b> をタッチすると表示しているメールの本文が返信に引用されます。<b>いいえ</b> をタッチすると本文は引用されません。このあと、メール作成画面が返信モードで表示されます。</p> <p><b>* 返信メールの宛先には、受信メールのヘッダーにreply-to: が記述されている場合はそこに記述されているアドレス、reply-to: が記述されていない場合はfrom: に記述されているアドレスが設定されます。</b> <b>* 返信メールの複写先には本装置に設定されたメールアドレスは含まれません。</b> <b>* 返信モードでの各機能は新規モードと同じですが、各機能を終了したあとは受信メール画面が表示されます。</b></p>
転送	<p>表示している受信メールを他の宛先に転送します。 ボタンをタッチするとメール作成画面が転送モードで表示されます。転送メールの本文には、表示されているメールの本文が引用され、その上下に転送であることを示すメッセージが自動的に挿入されます。</p> <p><b>* 転送モードでの各機能は新規モードと同じですが、各機能を終了したあとは受信メール画面が表示されます。</b></p>
戻る	受信メール画面を終了して受信メール一覧が表示されます。
< 表示の説明 > 差出人	メールの差出人のアドレスが表示されます。表示幅を越える部分は...で表示されます。
宛先	メールの宛先のアドレスが表示されます。表示幅を越える部分は...で表示されます。
複写先	メールの複写先のアドレスが表示されます。表示幅を越える部分は...で表示



題名	<p>されます。</p> <p>メールの題名が表示されます。表示幅を越える部分は...で表示されます。</p>
送信日時	<p>差出人がメールを送信した日時が表示されます。</p>
本文	<p>メールの本文が表示されます。</p> <p>メールの大きさが約20Kbyteを超える場合は本文が約20Kbyte分表示され、最終行に「このメールは大きすぎるので、20KBだけ保存しました。」と表示されます。</p>

## 9 - 6 アドレス帳

登録したメールアドレスの一覧と画面上部にページ数が表示されます。アドレスを 50 件まで登録することができます。アドレスを登録する方法には、一つずつ登録する方法と一括登録する方法があります。下記の画面は、一つずつ登録する方法の画面です。一括登録するには、受信簿の受信メール画面でアドレス登録ボタンをタッチします。

アドレス帳にメールアドレスを登録しておく、メール作成画面でメールの宛先や複写先を簡単に入力することができます。

アドレス一覧  
2/3ページ
 

**アドレス帳**

名前	アドレス	削除
	nf298760a@pukapuka	<input checked="" type="checkbox"/>
“田中花子”	hana@penguin	<input type="checkbox"/>
山田真理子 in 台所	yamari@penguin	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>

メニューへ

前ページ
次ページ
新規登録
削除

### <表示の説明>

名前セル	<p>アドレスにつけた名前が表示されます。表示幅を越える部分は...で表示されます。</p>
アドレスセル	<p>登録されているアドレスが表示されます。</p> <p>セルをタッチするとアドレス登録画面が編集モードで表示され、登録内容を</p>

削除セル	<p>変更することができます。表示幅を越える部分は...で表示されます。</p> <p>削除したいアドレスを指定します。</p> <p>セルの中の をタッチするとチェック ( × ) が表示され、削除の対象となります。削除をタッチするとそのアドレスが削除されます。</p> <p><b>* 削除セルのチェックは表示しているページ内でのみ有効で、別のページが表示されるとチェックが解除されます。</b></p>
< ボタンの説明 >	
メニューへ	アドレス帳を終了してメニュー画面へ移行します。
前ページ	登録アドレスの一覧が複数ページのと看、前のページが表示されます。
次ページ	登録アドレスの一覧が複数ページのと看、次のページが表示されます。
新規登録	<p>新しいアドレスを登録します。</p> <p>ボタンをタッチするとアドレス登録画面が新規モードで表示されます。</p>
削除	<p>登録されているアドレスを削除します。</p> <p>削除セルでチェック ( × ) されているアドレスがすべて削除されます。</p> <p><b>* 削除セルのチェックは表示しているページ内でのみ有効で、別のページが表示されるとチェックが解除されます。</b></p>

#### 9 - 6 - 1 アドレス登録

メールアドレスを登録するための画面が表示されます。アドレス登録画面には新規・編集の2種類のモードがあり、現在のモードは画面上部に表示されます。各モードともアドレスを登録する機能は同じですが、編集モードのときは登録ボタンとやめるボタンの間に削除ボタンが表示されます。

The screenshot shows a green-themed interface for address registration. At the top right, there are two buttons: '新規登録' (New Registration) and 'アドレス帳' (Address Book). Below these, there are two input fields: '名前' (Name) and 'アドレス' (Address). At the bottom right, there are two buttons: '登録' (Register) and 'やめる' (Cancel).

**<表示の説明>**

**名前**

アドレスにつける名前を入力します。

名前のあとの空欄をタッチするとキーボードが表示されるので、名前を入力してください。

**アドレス**

アドレスを入力します。

アドレスのあとの空欄をタッチして入力してください。

**<ボタンの説明>**

**登録**

入力したアドレスをアドレス帳に登録します。

ボタンをタッチすると登録中のメッセージが表示され、登録が終了するとアドレス一覧が表示されます。

**削除**

表示されているアドレスをアドレス帳から削除します。

ボタンをタッチすると確認のメッセージが表示され、**はい**をタッチするとアドレスが削除されてアドレス一覧が表示されます。**いいえ**をタッチすると、そのままアドレス帳登録画面が表示されます。

**\*このボタンは編集モードのときにのみ表示されます。**

**やめる**

入力したアドレスを登録せずに登録画面を終了します。

ボタンをタッチすると確認のメッセージが表示され、**はい**をタッチするとアドレスは登録されずにアドレス一覧が表示されます。**いいえ**をタッチすると、そのままアドレス帳登録画面が表示されます。

## 9 - 6 - 2 アドレス一括登録

受信簿に保存されたメールからメールアドレスを登録するための画面が表示されます。画面上部にはモードとページ数が表示されます。

この画面は、受信簿の受信メール画面でアドレス登録ボタンをタッチすると表示されます。

\* 受信メールの差出人アドレス、宛先アドレス、複写先アドレスが一括登録する対象となります。

一括登録  
2/3ページ
 

アドレス帳

名前	アドレス	登録
“鈴木太郎”	taro@penguin	<input type="checkbox"/>
“田中花子”	hana@penguin	<input type="checkbox"/>
	abc123@panda	<input checked="" type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>

前ページ
次ページ
登録
戻る

### <表示の説明>

**名前セル**                      アドレスにつけた名前が表示されます。表示幅を越える部分は...で表示されます。

**アドレスセル**                登録されているアドレスが表示されます。

**登録セル**                      登録したいアドレスを指定します。  
セルの中の ☒ をタッチするとチェック ( × ) が表示され、登録の対象となります。

\* 登録セルのチェックは表示しているページ内でのみ有効で、別のページが表示されるとチェックが解除されます。

### <ボタンの説明>

**前ページ**                      登録アドレスの一覧が複数ページの時、前のページが表示されます。

**次ページ**                      登録アドレスの一覧が複数ページの時、次のページが表示されます。

## 登録

アドレスを一括登録します。

ボタンをタッチすると、登録セルでチェック（×）されているアドレスがアドレス帳に登録されます。登録が終了すると登録数と確認メッセージが表示され、**はい**をタッチするとアドレス一括登録画面が表示されます。

登録アドレス一覧が複数ページあるときは、次ページボタンまたは前ページボタンでページを変えて同じ操作を繰り返してください。

ボタンをタッチしたときに登録セルにチェック（×）が一つもされていないときは、登録確認メッセージが表示され**はい**をタッチするとアドレス一括登録アドレス帳画面に戻ります。

## 戻る

ボタンをタッチするとアドレスは登録されずに受信メール画面が表示されます。

## 9 - 7 終了

終了ボタンをタッチすると、メールメニュー画面を終了します。

## 10．ソフトウェアキーボード

### 10 - 1 ソフトウェアキーボードの概要

本装置には、オリジナル配置のソフトウェアキーボードが数種類用意されています。このソフトウェアキーボードはHTMLドキュメントのタグから呼び出すことができます。呼び出し方は、11．HTMLドキュメント作成資料の11 - 7ソフトウェアキーボードの指定を参照してください。

ひらがな入力	ひらがなの入力が行える状態でキーボードが表示されます。
カタカナ入力	カタカナの入力が行える状態でキーボードが表示されます。
記号入力	記号の入力が行える状態でキーボードが表示されます。
アルファベット入力	アルファベットの入力が行える状態でキーボードが表示されます。 このキーボードでは、アルファベット以外は入力できません。
テンキー入力（小）	数字だけを入力する小さいキーボードが表示されます。
テンキー入力（大）	数字だけを入力する大きいキーボードが表示されます。
16進入力（小）	16進数だけを入力する小さいキーボードが表示されます。
16進入力（大）	16進数だけを入力する小さいキーボードが表示されます。

ここでは、かなキーボードを例にとって説明します。

英数	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	後退	削除	全削除	7	8	9
かな	を	り	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い	改行	前候補	取消	4	5	6
カナ	ん	る	よ	む	ふ	ぬ	っ	す	く	う	変換		確定	1	2	3
記号	、	れ	ゝ	め	へ	ね	て	せ	け	え	文節縮	↑	文節伸	0	.	,
小文字	。	ろ	ゝ	も	ほ	の	と	そ	こ	お	←	↓	→	+	-	:
半角	ー	「	」	（	）	！	？	・	～	空白	終了		中止	*	/	=

キーボードのキー配置は、機能別に4ブロックに分れています。左から文字選択キー群、文字入力キー群、機能選択キー群、テンキー群となっており、それぞれの機能に応じて色分けされています。

## 10 - 2 文字選択キー群

キーボードに表示する文字を選択するためのキーです。キー選択されるとキートップの色が変わります。大文字・小文字キーと全角・半角キーは次にキーをタッチされたときに表示する文字が表示されるので、現在表示されている文字の逆が表示されます。また、記号が選択されているときは、それぞれ表・裏キー、区点キーになります。

英数	キーをタッチすると、アルファベット（英数）を入力するためのキーボードが表示されます。大文字・小文字キーで大文字と小文字の選択ができ、全角・半角キーで全角と半角の選択ができます。半角キーボードにはURLやアドレスの入力が簡単にできる文字列キーが用意されています。
かな	キーをタッチすると、ひらがなを入力するためのキーボードが表示されます。大文字・小文字キーで「ちゃ」のような、ひらがなの小文字を入力することができます。  <b>* 小文字キーボードでは大文字の入力できません。また、半角文字は用意されていません。（キートップが白抜きで表示されます。）</b>
カナ	キーをタッチすると、カタカナを入力するためのキーボードが表示されます。大文字・小文字キーでカタカナの小文字を入力することができます。  <b>* 小文字キーボードでは大文字の入力できません。また、半角文字は用意されていません。（キートップが白抜きで表示されます。）</b>
記号	キーをタッチすると、記号を入力するためのキーボードが表示されます。記号の一種として顔文字が10種類入力できます。記号キーボードのときは、大文字・小文字キーと全角・半角キーがそれぞれ、表・裏キーと区点キーになります。表・裏キーをタッチすると、それぞれ違う記号が表示されます。区点キーをタッチすると、区点入力ができます。
小文字	キーをタッチすると、アルファベット（英数）、ひらがな（かな）、カタカナ（カナ）の各キーボードのときに、小文字を入力するためのキーボードが表示されます。  <b>* 記号キーボードのときは表・裏キーになります。</b>
半角	キーをタッチすると、アルファベット（英数）キーボードのときに半角文字を入力するためのキーボードが表示されます。  <b>* かなキーボードとカナキーボードのときは、キートップが白抜きで表示されて使用できません。また、記号キーボードのときは、区点入力キーになります。</b>
表・裏	キーをタッチすると、記号キーボードの表示が表から裏へ、裏から表へと入れ替わります。  <b>* 記号キーボード以外では表示されません。</b>
区点	キーをタッチすると、区点入力キーボードがポップアップします。入力したい文字の区点番号を4桁の数字で入力してください。4桁目を入力すると、区点キーボードは自動的に閉じて文字が入力されます。  <b>* 記号キーボード以外では表示されません。</b>

### 10 - 3 文字入力キー群

文字や記号を入力するためのキーです。キーをタッチするとキートップがタッチされた状態になり、文字や記号が入力されます。放すと元の状態に戻ります。

文字	アルファベット（英数）、ひらがな（かな）、カタカナ（カナ）、記号を入力するためのキーです。文字選択キーをタッチすることによって、それぞれの文字や記号がキーボードに表示されます。
空白	空白を入力します。全角・半角の区別があります。

### 10 - 4 機能キー群

入力した文字を編集したり、漢字変換をするための特殊な機能を持ったキーです。キーをタッチするとキートップがタッチされた状態になり、機能が実行されます。放すと元の状態になります。

後退	カーソルの左側の1文字が削除されます。（Back Spaceキー） 漢字変換中は無効です。
削除	カーソルの右側の1文字が削除されます。（Deleteキー） 漢字変換中は無効です。
全削除	入力エリアに表示されている文字をすべて削除します。 全削除キーをタッチすると、確認のメッセージが表示されます。はいをタッチするとすべての入力が削除されます。いいえをタッチすると入力は削除されません。 文字入力中（文字が青で表示されている状態）で漢字変換する前は、入力した文字を無効にします。 漢字変換中は無効です。
改行	複数行を入力するときに、改行を行います。 文字入力中は、変換中の文節すべてを確定します。
前候補	漢字変換中の文節の、一つ前の候補を表示します。 漢字変換中のみ有効です。
取消	入力をキャンセルします。（Escape） 漢字変換中は変換をキャンセルし、漢字変換前の状態に戻します。
変換	入力した文字の変換をします。もう一度タッチすると、次の候補が表示されます。
確定	入力を確定します。 漢字変換中は変換中の文節までを確定します。
文節縮	漢字変換中の文節を短くします。 漢字変換中のみ有効です。
文節伸	漢字変換中の文節を長くします。 漢字変換中のみ有効です。  入力した文章内でカーソルを上に移動します。 文字入力中・漢字変換中は無効です。  入力した文章内でカーソルを下に移動します。 文字入力中・漢字変換中は無効です。



入力した文章内でカーソルを左に移動します。  
漢字変換中は文節単位で左に移動します。

入力した文章内でカーソルを右に移動します。  
漢字変換中は文節単位で右に移動します。

**終了** 入力した文章を有効にして、キーボードによる入力を終了します。ソフトウェアキーボードは自動的に消されて、元の画面が表示されます。

**中止** キーボードによる入力を中止します。  
キーをタッチすると確認のメッセージが表示されます。**はい**をタッチすると入力した文章を無効にして終了します。**いいえ**をタッチすると入力を続けます。

## 10 - 5 テンキー群

数字と記号を入力するためのキーです。

**数字** 数字を入力します。全角・半角の区別があります。

**\* ひらがな入力・カタカナ入力のときは全角のみです。**

**記号** 記号を入力します。全角・半角の区別があります。

**\* ひらがな入力・カタカナ入力のときは全角のみです。**

## 1 1 - 1 対応画像データ形式

本装置では以下の画像データ形式に対応しています

- GIF ( GIF87a、 GIF89a ( Interlaced、 Non-Interlaced、 Transparent Color ) )
- JPEG ( 基本方式 ( ベースライン ) DCT符号化 )  
\* 大きな画像サイズのProgressive JPEGは表示されない場合があります。
- PNG

## 1 1 - 2 対応サウンドデータ形式

本装置では以下のファイル形式に対応しています。

ただし 16Bit サンプリングデータは 8Bit サンプリングデータに再生時に自動的に変換されます。

下記のファイル形式の音源ファイルを<BGSOUND>タグで指定すると BGM になります。

<A HREF>タグで指定すると再生用のダイアログが表示されます。

### • WAV形式ファイル

Encoding Tag	PCM, MULAW
Channels	1(モノラル)、2(ステレオ)
Bits/Sample	8、16
Sample Rate	~ 44100Hz

### • AU形式ファイル

Encoding Tag	PCM, MULAW
Channels	1(モノラル)、2(ステレオ)
Bits/Sample	8、16
Sample Rate	~ 44100Hz

### • AIFF形式ファイル

Channels	1(モノラル)、2(ステレオ)
Bits/Sample	8、16
Sample Rate	~ 44100Hz

### 1 1 - 3 表示フォントについて

本装置で表示できるフォントは、平成明朝体 16dot、ボールド体 12,16,24dot です。  
またフォントと<FONT>タグ及び<H>タグとの関係は次の通りです。

タグ	表示されるフォント
<FONT SIZE=1>	ボールド 12dot
<FONT SIZE=2>	ボールド 12dot
<FONT SIZE=3>	平成明朝体 16dot
<FONT SIZE=4>	平成明朝体 16dot
<FONT SIZE=5>	平成明朝体 16dot
<FONT SIZE=6>	ボールド 24dot
<FONT SIZE=7>	ボールド 24dot
<H1>	ボールド24dot
<H2>	ボールド16dot
<H3>	ボールド16dot
<H4>	ボールド16dot
<H5>	ボールド12dot
<H6>	ボールド12dot

### 1 1 - 4 メールメニュー画面への移行

メール機能のトップページを呼び出すには、以下のように記述してください。

```
<A HREF = "x-avefront://---.mail/start" target="_root">  
<A HREF = "mailto:aaa@bbb.cc.dd">
```

### 1 1 - 5 ユーザインターフェイスの作成

本装置にはユーザが作成するHTML文書にツールバーの“進む”、“戻る”などの機能をユーザが作成するHTML文書に埋め込むことができます。さらにこれらの機能を特定のフレームに表示することにより、不意にツールバーの機能を埋め込んだフレームが消去されないようにすることも可能です。これらの機能は「システム環境設定 ツールバーの表示形式」で「表示しない」に設定している時に便利な機能です。

#### 1 1 - 5 - 1 ツールバーの機能を HTML 文書に埋め込む

ツールバーの機能を HTML 文書から呼び出すには<A HREF=“...”>タグを次表のように使用してください。

ツールバーの機能	書式
戻る	<A HREF = "x-avefront://a--.avefront/navigation/backward">
進む	<A HREF = "x-avefront://a--.avefront/navigation/forward">
再読込	<A HREF = "x-avefront://a--.avefront/navigation/reload">
ホーム	<A HREF = "x-avefront://a--.avefront/navigation/home">
中止	<A HREF = "x-avefront://a--.avefront/navigation/stop">
ジャンプ	<A HREF = "x-avefront://a--.avefront/navigation/urlinput">
管理者設定画面を呼び出す	<A HREF = "x-avefront://---.config/start" target="_root">
ユーザ設定画面を呼び出す	<A HREF = "x-avefront://---.user-config/start" target="_root">

## 1 1 - 5 - 2 フレームの拡張機能

ツールバーの機能を埋め込んだHTML文書をフレームに表示した時に不意にそのフレームが消去されないようにするため、本装置ではフレーム名に“\_top”を許しています。

<例>

```
<FRAMESET ROWS="40,*" >
  <FRAME NAME = "_MyToolbar" SRC="..."> <!--ツールバー機能を含むHTML文書を表示-->
  <FRAME NAME = "_top" SRC="..."> <!--任意のHTML文書を表示-->
</FRAMESET>
```

このようにして作成したフレームを消去するためには次のいずれかを行います。

- アンカーのターゲットとして\_root をつける
- HTML 文書のヘッダ部分に  
    <META HTTP-EQUIV="Window-target:" CONTENT="\_root">  
をつける。
- ツールバーの“ホーム”をタッチする、あるいは、前述の方法で作成した“ホーム”機能へのアンカーをタッチして、ホームに設定したHTML文書を表示する。

## 1 1 - 6 コンテンツの有効表示範囲

本装置の表示解像度は横 800dot 縦 600dot ですが、ブラウザ外側の飾枠やツールバー表示により、実際にHTML文書を表示できる範囲はこれより小さくなります。実際にHTML文書を表示できる有効表示範囲は次のようになります。

	幅(横方向)	高さ(縦方向)
ツールバーを表示しない場合	786dot	586dot
ツールバーを表示する場合	786dot	557dot

有効表示範囲より大きなHTML文書を表示する場合、「表示環境 スクロールバーの表示」で「自動」を選択している場合は自動的にスクロールバーが表示されます。

表示されるHTML文書のサイズによらずスクロールバーを表示したくない場合は、「表示環境 スクロールバーの表示」で「非表示」を選択してください。

## 11-7 ソフトウェアキーボードの指定

<input type="text">または<input type="password">または<textarea>の softkeytype 属性でソフトウェアキーボードの種類を指定することにより、入力タイプに合ったソフトウェアキーボードを指定できます。

さらに<TEXTAREA>でソフトウェアキーボードを指定した場合、ソフトウェアキーボードの入力ウィンドウの行数を softkeyrows=1...9 と指定することができます。（デフォルトでは9行です。）

<例> 画面下部にひらがなキーボードを表示する場合

```
<TEXTAREA softkeytype ="Hira_Lower" softkeyrows = 5>
```

属性	表示されるキーボード
"tenkey_1"	テンキー入力（小）
"tenkey_2"	テンキー入力（大）
"tenkey_leftupper"	画面左上に表示されるテンキー
"tenkey_centerupper"	画面中央上に表示されるテンキー
"tenkey_rightupper"	画面右上に表示されるテンキー
"tenkey_leftlower"	画面左下に表示されるテンキー
"tenkey_centerlower"	画面中央下に表示されるテンキー
"tenkey_rightlower"	画面右下に表示されるテンキー
"hexkey_1"	16進入力（小）
"hexkey_2"	16進入力（大）
"ascii_upper"	画面上側に表示される半角英数専用キーボード
"ascii_lower"	画面下側に表示される半角英数専用キーボード
"hira_upper"	画面上側に表示されるひらがなキーボード
"hira_lower"	画面下側に表示されるひらがなキーボード
"kata_upper"	画面上側に表示されるカタカナキーボード
"kata_lower"	画面下側に表示されるカタカナキーボード
"kigou_upper"	画面上側に表示される記号キーボード
"kigou_lower"	画面下側に表示される記号キーボード

本装置のシステムバージョン V2.21 以前の標準キーボードには以下のものがあります。

属性	表示されるキーボード
"normal"	通常の場合
"hira"	ひらがな入力
"kata"	カタカナ入力
"kigou"	記号入力
"ascii"	アルファベット入力

\* softkeytype属性の指定がない場合、V2.21以前とV2.30以降では表示されるソフトウェアキーボードの形状が異なります。V2.21以前のキーボードを使用する場合は上記属性をHTMLドキュメントに追加してください。

## 1 1 - 8 HTMLタグ一覧

### 基本タグ

<HTML> </HTML>	<HEAD> </HEAD>
<TITLE> </TITLE>	<BODY> </BODY>
<Hn> </Hn>	<Hn ALIGN=LEFT CENTER RIGHT> </Hn>
<P>	<HR>
<HR SIZE="...">	<HR WIDTH="...">
<HR ALIGN=left right center>	<HR NOSHADE>
<HR COLOR>	&lt &gt &amp; &quot
<BODY LEFTMARGIN=..>	<BODY TOPMARGIN=..>
<BODY BGCOLOR="...">	<BODY TEXT="...">
<BODY LINK="..." VLINK="..." ALINK="...">	<BODY BACKGROUND="url">
<!....>	

### 配置タグ

<PRE> </PRE>	<XMP> </XMP>
<LISTING> </LISTING>	<BLOCKQUOTE> </BLOCKQUOTE>
<DIV ALIGN>	 
<SUB> </SUB>	<SUP> </SUP>
<BR CLEAR=left right all>	<CENTER> </CENTER>

### リストタグ

<UL> <LI> </UL>	<OL> <LI> </OL>
<DIR> <LI> </DIR>	<MENU> <LI> </MENU>
<DL> <DT> <DD> </DL>	<UL TYPE=disk circle square>
<OL TYPE=A a I i 1>	<OL START="...">
<LI TYPE=disk circle square>	<LI TYPE=A a I i 1>
<LI VALUE="...">	

### リンクタグ

<A HREF="url"> </A>	<A HREF="URL#...."> </A>
<A HREF="#....."> </A>	<A NAME="....."> </A>

### テーブルタグ

<TABLE> </TABLE>	<TABLE ALIGN>
<TABLE BORDER>	<TABLE BORDER="..">
<TABLE CELSPACING="...">	<TABLE CELLPADDING="...">
<TABLE COLS>	<TABLE WIDTH="..">
<TABLE WIDTH=%>	<TR><TH> </TH></TR>
<TR><TD> </TD></TR>	<CAPTION> </CAPTION>
<CAPTION ALIGN=top bottom>	<TR TH TD ALIGN=left center right>
<TR TH TD VALIGN=top middle bottom baseline>	<TR TH TD BGCOLOR>
<TH TD NOWRAP>	<TH TD COLSPAN="...">
<TH TD ROWSPAN="...">	<TH TD WIDTH="..." HEIGHT="...">
<TH TD WIDTH=%>	<TABLE HEIGHT>
<TABLE HSPACE>	<TABLE VSPACE>

### フォントタグ

<ADDRESS> </ADDRESS>	<BIG> </BIG>
----------------------	--------------

<SMALL> </SMALL>	<FONT SIZE="..."> </FONT>
<FONT SIZE=+ - n> </FONT>	<FONT COLOR="..."></FONT>
<CITE> </CITE>	<CODE> </CODE>
<EM> </EM>	<KBD> </KBD>
<SAMP> </SAMP>	<STRIKE> </STRIKE>
<STRONG> </STRONG>	<DFN> </DFN>
<VAR> </VAR>	<B> </B>
<I> </I>	<TT> </TT>
<U> </U>	<BASEFONT SIZE="...">
<BLINK> </BLINK>	

## 画像タグ

<IMG SRC="url">	<IMG ALIGN =top middle bottom>
<IMG ALIGN=left right>	<IMG ALIGN=text top absmiddle baseline absbottom>
<IMG NAME="...">	<IMG WIDTH="..." HEIGHT="...">
<IMG BORDER="...">	<IMG VSPACE="..." HSPACE="...">
<IMG ALT="...">	<IMG ISMAP>
<IMG USEMAP>	<MAP NAME="..."> </MAP>
<AREA COORDS/HREF/NAME/NOHREF/ALT/SHAPE>	

## フォームタグ

<FORM ACTION="url" METHOD=get post>	<FORM ENCTYPE="...">
<FORM NAME>	<FORM TARGET>
<INPUT TYPE=text>	<INPUT TYPE=password>
<INPUT TYPE=checkbox>	<INPUT TYPE=radio>
<INPUT TYPE=image>	<INPUT TYPE=submit>
<INPUT TYPE=reset>	<INPUT NAME="...">
<INPUT VALUE="...">	<INPUT ALIGN>
<INPUT CHECKED>	<INPUT MAXLENGTH=n>
<INPUT SIZE=n>	<INPUT SRC="url">
<SELECT> </SELECT>	<SELECT NAME="..."> </SELECT>
<SELECT SIZE=n> </SELECT>	<SELECT MULTIPLE>
<OPTION SELECTED>	<TEXTAREA>
<TEXTAREA NAME="...">	

## フレームタグ

<FRAME ALIGN>	<FRAMESET>
---------------	------------

## 拡張タグ

<SPACER ALIGN/HEIGHT/SIZE/TYPE/WIDTH>	
---------------------------------------	--

## ヘッダタグ

<BASE HREF="url" / TARGET="...">	<ISINDEX>
<ISINDEX PROMPT="...">	<META HTTP-EQUIV="..." CONTENT="...">

## サウンドタグ

<BGSOUND SRC="url" / LOOP=再生回数>	
---------------------------------	--

# 11 - 9 JavaScript

## 11 - 9 - 1 JavaScript 対応表

: 対応  
 : 制限事項有  
 × : 未対応

オブジェクト		対応	備考
<b>navigator</b>	<b>Properties</b>		
	appCodeName		“Mozilla”
	appName		“Netscape”
	appVersion		“3.0(AveFront/2.5 WebLight)”
	language		“ja”
	mimetypes		
	mimetypes.length		
	platform		“Itron”
	plugins		
	plugins.length		
	userAgent		“Mozilla/3.0 (AveFront2.5 WebLight)”
	<b>Method</b>		
	javaEnabled	×	
	plugins.refresh		何も起こりません。
	taintEnabled	×	
<b>MimeType</b>	<b>Properties</b>		
	description		
	enabledPlugin		
	suffixes		
	type		
<b>Plugin</b>	<b>Properties</b>		
	description		
	filename		
	length		
	name		
<b>screen</b>	<b>Properties</b>		
	availHeight		
	availWidth		
	colorDepth		
	height		
	pixelDepth		
	width		
<b>Object</b>	<b>Properties</b>		
	constructor	×	
	prototype	×	
	<b>Method</b>		
	eval		
	unwatch	×	
	valueOf		
	watch	×	
	toString		
	<b>Constructors</b>		
	new Object()		
<b>Boolean</b>	<b>Properties</b>		
	constructor	×	
	prototype	×	
	<b>Method</b>		
	toString		
	valueOf		



オブジェクト		対応	備考
	<b>Constructors</b>		
	new Boolean()		
<b>Number</b>	<b>Properties</b>		
	constructor	×	
	MAX_VALUE		
	MIN_VALUE		
	NaN		
	NEGATIVE_INFINITY		
	POSITIVE_INFINITY		
	prototype	×	
	<b>Method</b>		
	toString		
	valueOf		
	<b>Constructors</b>		
	new Number()		
<b>Function</b>	<b>Properties</b>		
	arguments		
	arguments.caller	×	
	arguments.length		
	arity		
	constructor	×	
	prototype	×	
	<b>Method</b>		
	toString	×	
	valueOf	×	
	<b>Constructors</b>		
	new Function()		
<b>Date</b>	<b>Properties</b>		
	constructor	×	
	prototype	×	
	<b>Method</b>		
	getDate	×	
	getDay	×	
	getHours	×	
	getMinutes	×	
	getMonth	×	
	getSeconds	×	
	getTime	×	
	getTimezoneOffset	×	
	getYear	×	
	parse	×	
	setDate	×	
	setHours	×	
	setMinutes	×	
	setMonth	×	
	setSeconds	×	
	setTime	×	
	setYear	×	
	toGMTString	×	
	toLocaleString	×	
	toString	×	
	UTC	×	
	valueOf	×	
	<b>Constructors</b>		
	new Date()	×	

オブジェクト		対応	備考
<b>Math</b>	<b>Properties</b>		
	E		
	LN10		
	LN2		
	LOG10E		
	LOG2E		
	PI		
	SQRT1_2		
	SQRT2		
	<b>Method</b>		
	abs		
	acos		
	asin		
	atan		
	atan2		
	ceil		
	cos		
	exp		
	floor		
	log		
	max		
	min		
	pow		
	random		
	round		
	sin		
	sqrt		
	tan		
<b>Array</b>	<b>Properties</b>		
	constructor	×	
	length		
	prototype	×	
	<b>Method</b>		
	concat		
	join		
	pop		
	push		
	reverse		
	shift		
	slice		
	splice		
	sort		辞書順のソートのみ対応。比較関数を使用することはできません。
	toString		
	unshift		
	valueOf		
	<b>Constructors</b>		
	new Array()		
<b>history</b>	<b>Properties</b>		
	current		
	length		
	next	×	
	previous	×	
	<b>Method</b>		
	back		
	forward		
	go		

オブジェクト		対応	備考
location	Properties		
	hash		
	host		
	hostname		
	href		
	pathname		
	port		
	protocol		
	search		
	Method		
	reload		引数によらず常にサーバから再読み込みを行います。
	replace		
String	Properties		
	constructor	×	
	length		2バイトコード文字は全角1文字を2文字として数えます。
	prototype	×	
	Method		
	anchor		
	big		
	blink		
	bold		
	charAt		2バイトコード文字が含まれている場合、正常に処理されません。
	concat		
	fixes		もともと等幅フォントのため表示の変化はありません。
	fontcolor		
	fontSize		
	indexOf		2バイトコード文字が含まれている場合、正常に処理されません。
	italics	×	
	lastIndexOf		2バイトコード文字が含まれている場合、正常に処理されません。
	link		
	slice		2バイトコード文字が含まれている場合、正常に処理されません。
	small		
	split		
	strike		
	sub		
	substr		2バイトコード文字が含まれている場合、正常に処理されません。
	substring		2バイトコード文字が含まれている場合、正常に処理されません。
	sup		
	toLowerCase		
	toString		
	toUpperCase		
	valueOf		
	Constructors		
	new String()		
Window/Frame	Properties		
	closed		常にfalseが返ります。
	defaultStatus		ステータスバーがないので何も起こりません。
	frames		
	innerHeight		
	innerWidth		
	length		
	locationbar		常にfalseが返ります。
	menubar		常にfalseが返ります。
	name		
	opener	×	
	outerHeight		

オブジェクト		対応	備考
	outerWidth		
	parent		
	personalbar		常にfalseが返ります。
	scrollbars		常にfalseが返ります。
	self		
	status		ステータスバーがないので何も起こりません。
	toolbar		常にfalseが返ります。
	top		
	window		
	<b>Method</b>		
	alert		
	back		
	blur	×	
	clearTimeout		
	close	×	ウインドウを閉じることはできません。
	confirm		
	focus	×	
	forward		
	home		
	open	×	
	prompt		
	scroll		
	scrollBy		
	scrollTo		
	setTimeout		
	stop		
	<b>EventHandlers</b>		
	onBlur	×	
	onError	×	
	onFocus	×	
	onLoad		
	onUnload		
<b>document</b>	<b>Properties</b>		
	alinkColor		レイアウト確定後は変更できません。
	anchors		
	anchors.length		
	applets		
	applets.length		
	bgColor		
	cookie		
	domain	×	
	embeds		
	embeds.length		
	fgColor		レイアウト確定後は変更できません。
	formName		
	forms		
	forms.length		
	images		
	images.length		
	lastModified	×	
	linkColor		レイアウト確定後は変更できません。
	links		Link Objectのみ対応
	links.length		Link Objectのみ対応
	plugins		
	plugins.length		
	referrer		

オブジェクト		対応	備考
	title		
	URL		
	vlinkColor		レイアウト確定後は変更できません。
	<b>Method</b>		
	close		
	open		
	write		
	writeln		
<b>Anchor</b>	<b>Properties</b>		
	name		
<b>Applet</b>	<b>Properties</b>		
	all public properties of the Java applet.	×	<APPLET>タグに対応していません。
	<b>Method</b>		
	all public methods of the Java applet.	×	<APPLET>タグに対応していません。
<b>Image</b>	<b>Properties</b>		
	border		
	complete		
	height		
	hspace		
	lowsrc	×	
	name		
	src		
	vspace		
	width		
	<b>EventHandlers</b>		
	onabort	×	
	onError	×	
	onLoad	×	
<b>Link</b>	<b>Properties</b>		
	hash		
	host		
	hostname		
	href		
	pathname		
	port		
	protocol		
	search		
	target		
	<b>EventHandlers</b>		
	onClick		
	onMouseOut		
	onMouseOver		
<b>Area</b>	<b>Properties</b>		
	hash	×	
	host	×	
	hostname	×	
	href	×	
	pathname	×	
	port	×	
	protocol	×	
	search	×	
	target	×	
	<b>EventHandlers</b>		
	onClick	×	

オブジェクト		対応	備考
	onMouseOut	×	
	onMouseOver	×	
<b>Form</b>	<b>Properties</b>		
	action		
	elements		
	elements.length		
	encoding		
	length		
	method		
	name		
	target		
	<b>Method</b>		
	reset		
	submit		actionに”mailto:”が指定されている場合にメールが送信されません。
	<b>EventHandlers</b>		
	onReset		
	onSubmit		
<b>Button</b>	<b>Properties</b>		
	form		
	name		
	type		
	value		
	<b>Method</b>		
	blur		
	click		
	focus		
	<b>EventHandlers</b>		
	onBlur		
	onClick		
	onFocus		
<b>Checkbox</b>	<b>Properties</b>		
	checked		
	defaultChecked		
	form		
	name		
	type		
	value		
	<b>Method</b>		
	blur		
	click		
	focus		
	<b>EventHandlers</b>		
	onBlur		
	onClick		
	onFocus		
<b>FileUpload</b>	<b>Properties</b>		
	form	×	
	name	×	
	type	×	
	value	×	
	<b>Method</b>		
	blur	×	
	focus	×	
	<b>EventHandlers</b>		
	onBlur	×	

オブジェクト		対応	備考
	onChange	×	
	onFocus	×	
<b>Hidden</b>	<b>Properties</b>		
	form		
	name		
	type		
	value		
<b>Password</b>	<b>Properties</b>		
	defaultValue		
	form		
	name		
	type		
	value		
	<b>Method</b>		
	blur		
	focus		
	select		何も起こりません。
	<b>EventHandlers</b>		
	onBlur		
	onFocus		
<b>Radio</b>	<b>Properties</b>		
	checked		
	defaultChecked		
	form		
	length		
	name		
	type		
	value		
	<b>Method</b>		
	blur		
	click		
	focus		
	<b>EventHandlers</b>		
	onBlur		
	onClick		
	onFocus		
<b>Reset</b>	<b>Properties</b>		
	form		
	name		
	type		
	value		
	<b>Method</b>		
	blur		
	click		
	focus		
	<b>EventHandlers</b>		
	onBlur		
	onClick		
	onFocus		
<b>Submit</b>	<b>Properties</b>		
	form		
	name		
	type		
	value		

オブジェクト		対応	備考
	<b>Method</b>		
	blur		
	click		actionに”mailto:”が指定されている場合にメールが送信されません。
	focus		
	<b>EventHandlers</b>		
	onBlur		
	onClick		
	onFocus		
<b>Text</b>	<b>Properties</b>		
	defaultValue		
	form		
	name		
	type		
	value		
	<b>Method</b>		
	blur		
	focus		
	select		何も起こりません。
	<b>EventHandlers</b>		
	onBlur		
	onChange		
	onFocus		
	onSelect	×	
<b>Textarea</b>	<b>Properties</b>		
	defaultValue		
	form		
	name		
	type		
	value		
	<b>Method</b>		
	blur		
	focus		
	select		何も起こりません。
	<b>EventHandlers</b>		
	onBlur		
	onChange		
	onFocus		
	onSelect	×	
<b>Select</b>	<b>Properties</b>		
	form		
	length		
	name		
	options		
	options.length		
	selectedIndex		
	type		
	<b>Method</b>		
	blur		
	focus		
	<b>EventHandlers</b>		
	onBlur		
	onChange		
	onFocus		



オブジェクト		対応	備考
Option	Properties		
	defaultSelected		
	index		
	length		
	selected		
	text		
	value		
	Constructors		
	new Option()	×	

### 11-9-2 JavaScript 制限事項

本装置の JavaScript には以下の制限があります。

- ・ JavaScript 1.0 または JavaScript 1.1 のプロパティ、メソッド等でも対応していないものがあります。詳しくは **11-9-1 JavaScript 対応表** を参照してください。
- ・ Date オブジェクト、Area オブジェクト、FileUpload オブジェクトには対応していません。
- ・ 複数のウインドウを作成することはできません。ウインドウは起動時に作成されるウインドウのみ使用できます。
- ・ 起動時に自動的に作成されるウインドウを閉じる事ができません。

## 1 2 . 保守

### 1 2 - 1 保守

- ・タッチパネルにはガラスを使用していますので、拭きとる場合はタッチパネルに過度の力を加えないようにしてください。破損の原因となります。
- ・シンナーや有機溶剤、アンモニア、強酸系の溶剤などで拭かないでください。
- ・タッチパネルやケースが汚れた場合は、水で薄めた中性洗剤や工業用アルコールを柔らかい布や脱脂綿にしみこませ汚れを拭きとってください。
- ・中性洗剤を使用する場合は、かたく絞ってから拭きとるようにしてください。

2000 年 4 月 1 日 第 3 版 発行

**KOMATSU**